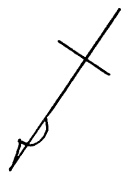
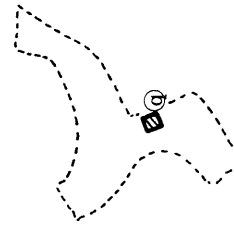
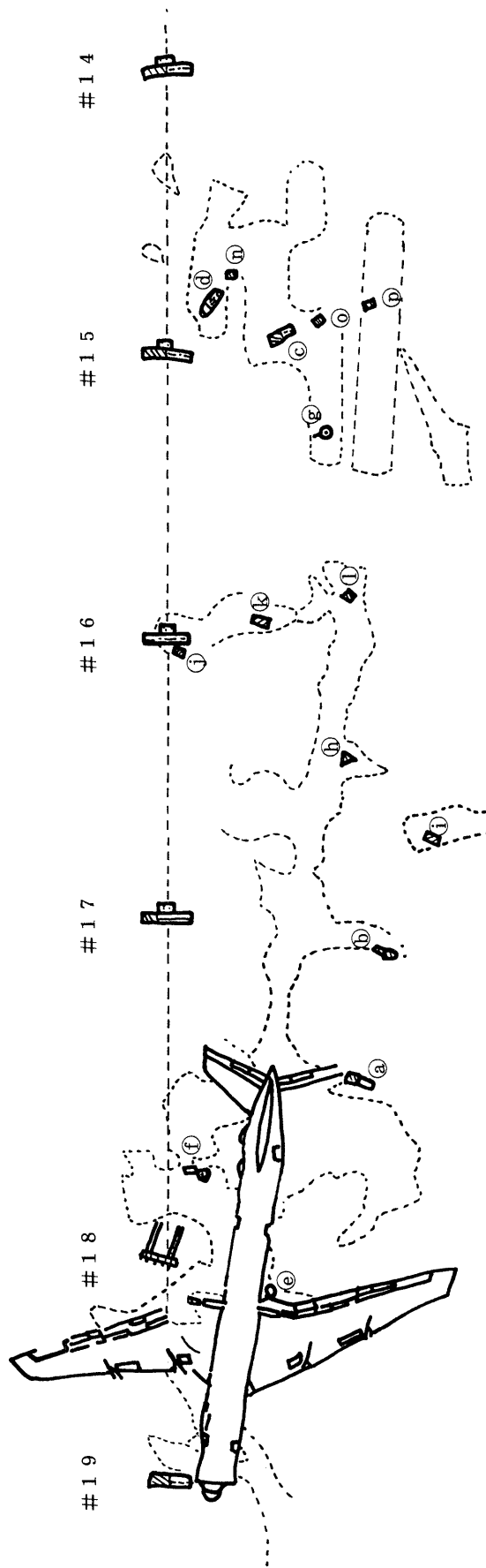


第6図 主要残骸散乱状況図



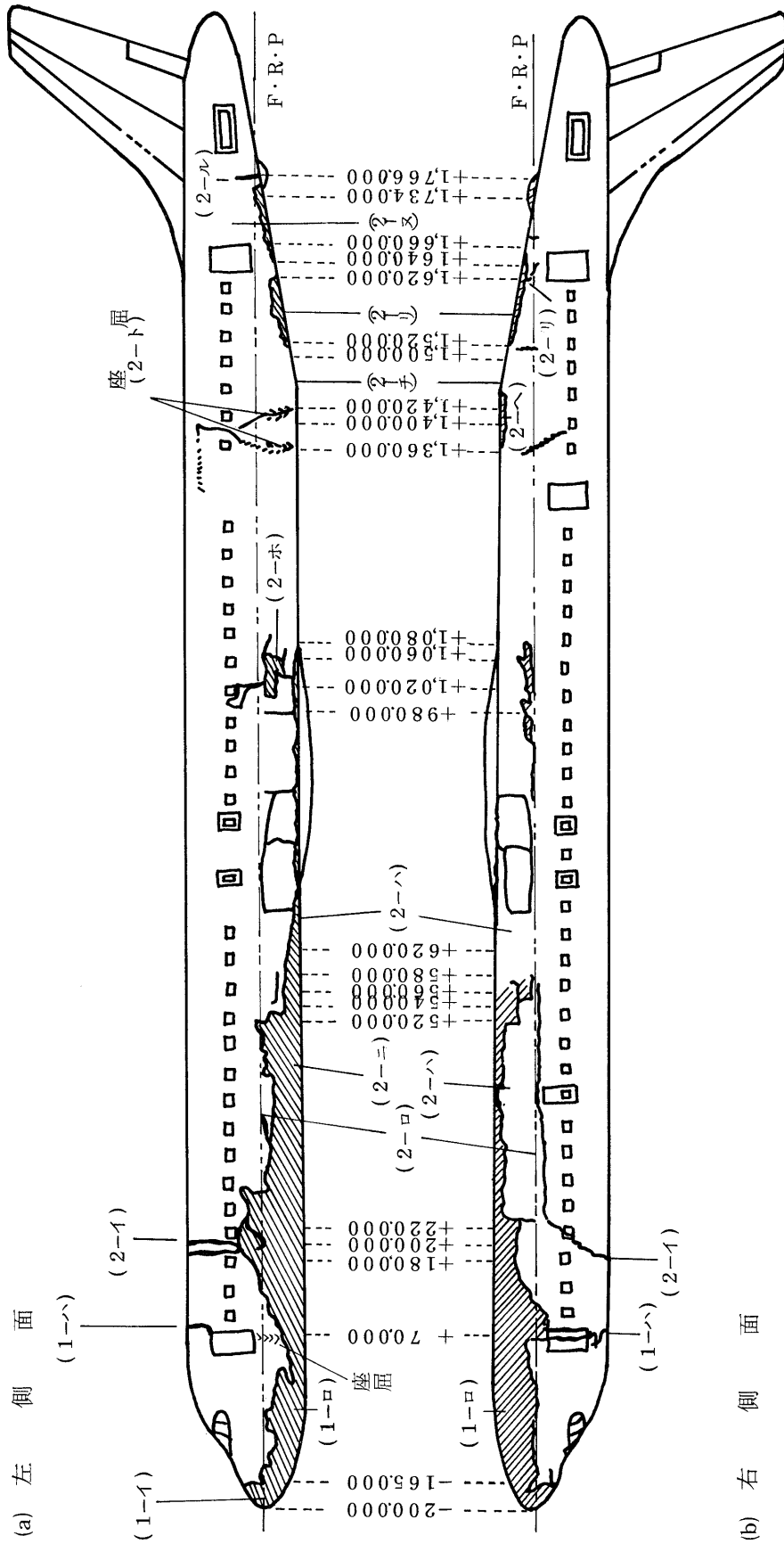
1
500

⑦



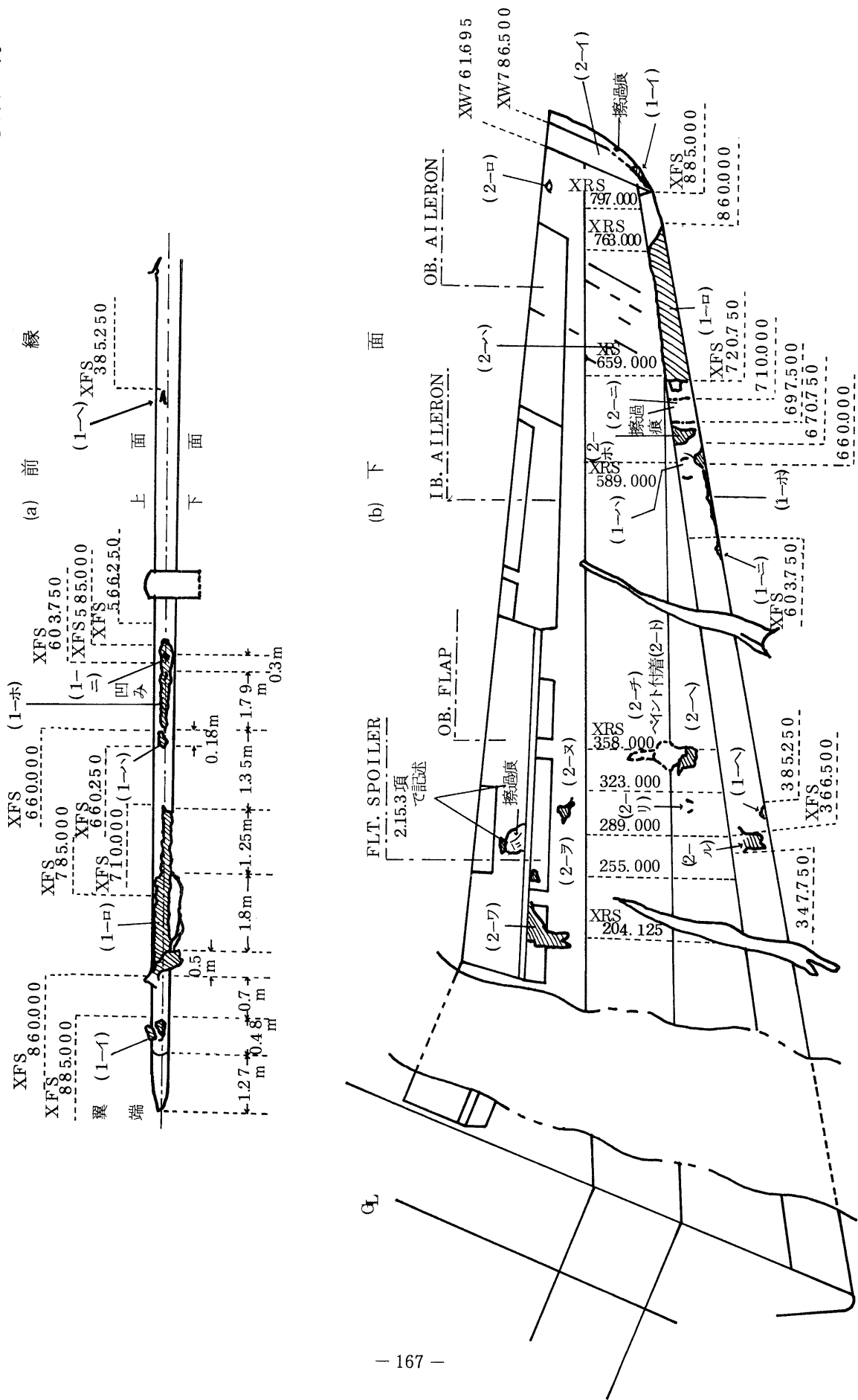
③ 第1エンジン	⑦ 前脚車輪及ストラット	⑩ 右主翼破片
④ 第2エンジン	⑧ トルクチューブ ⑨ ショックシリンダ等	⑪ エンジンカウリング
⑤ 第3エンジン	① エンジンカウリング	② ファンパネル
⑥ 第4エンジン	④ エンジンカウリング	⑤ 機体破片
⑦ 左主脚	⑫ フラップ片	⑬ 主翼破片
⑧ 右主脚	① 主翼破片	

第 7 図 胴 体 損 壊 図



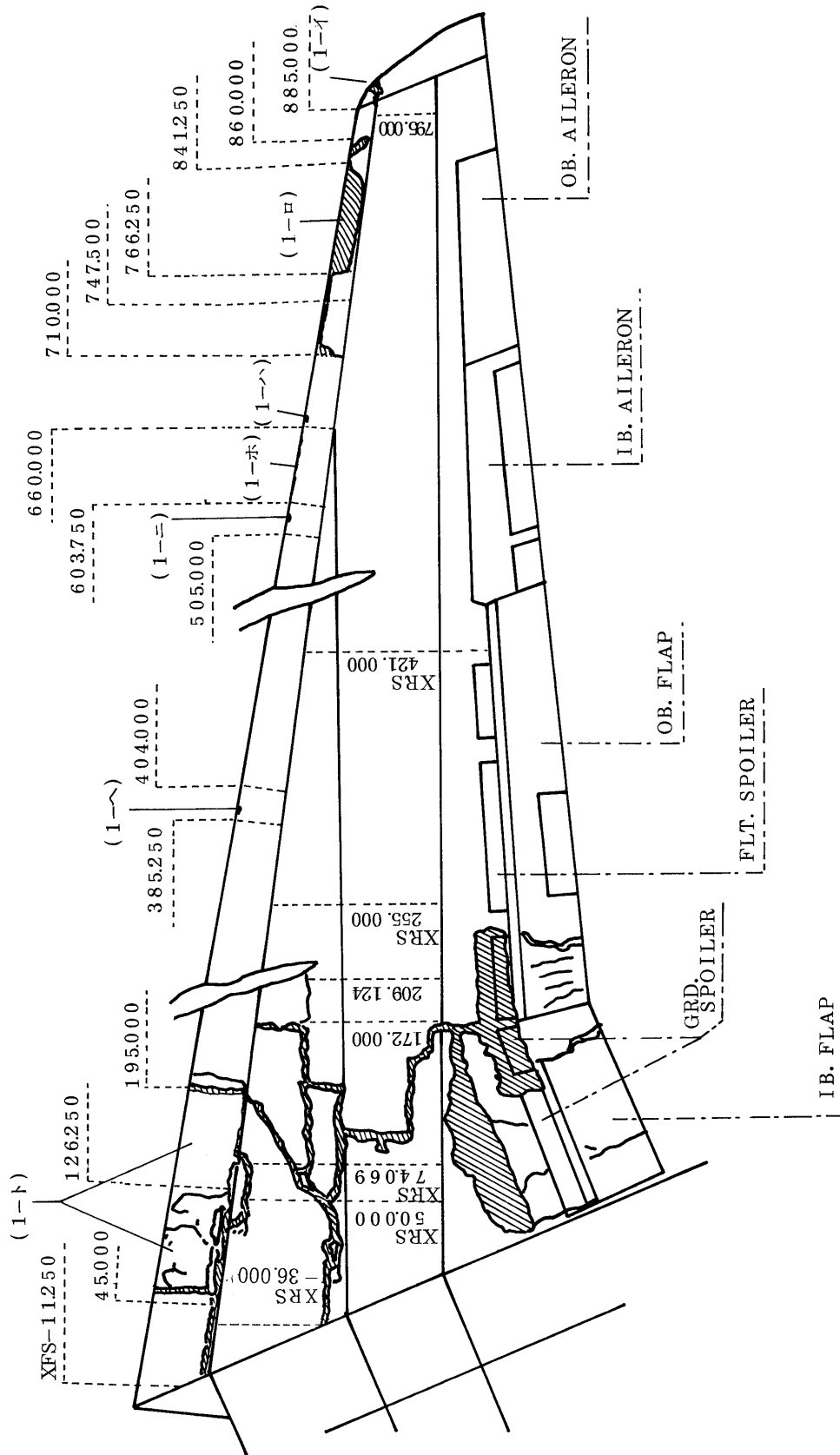
() は、本文中の対応条項を示す。

第 8 図 右 主 翼 損 壊 図 関 () 内は、本文中の対応条項を示す。



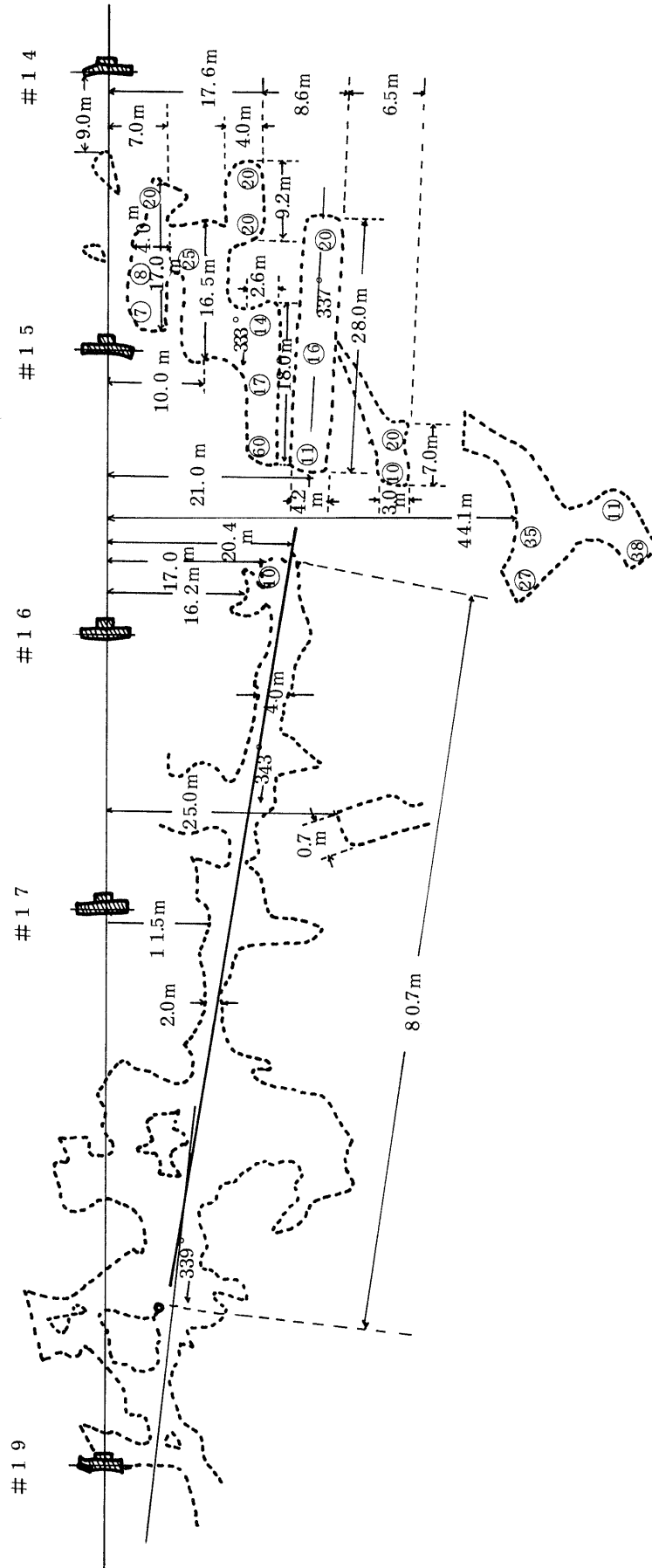
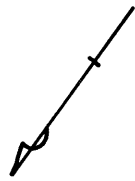
面

(c) 上

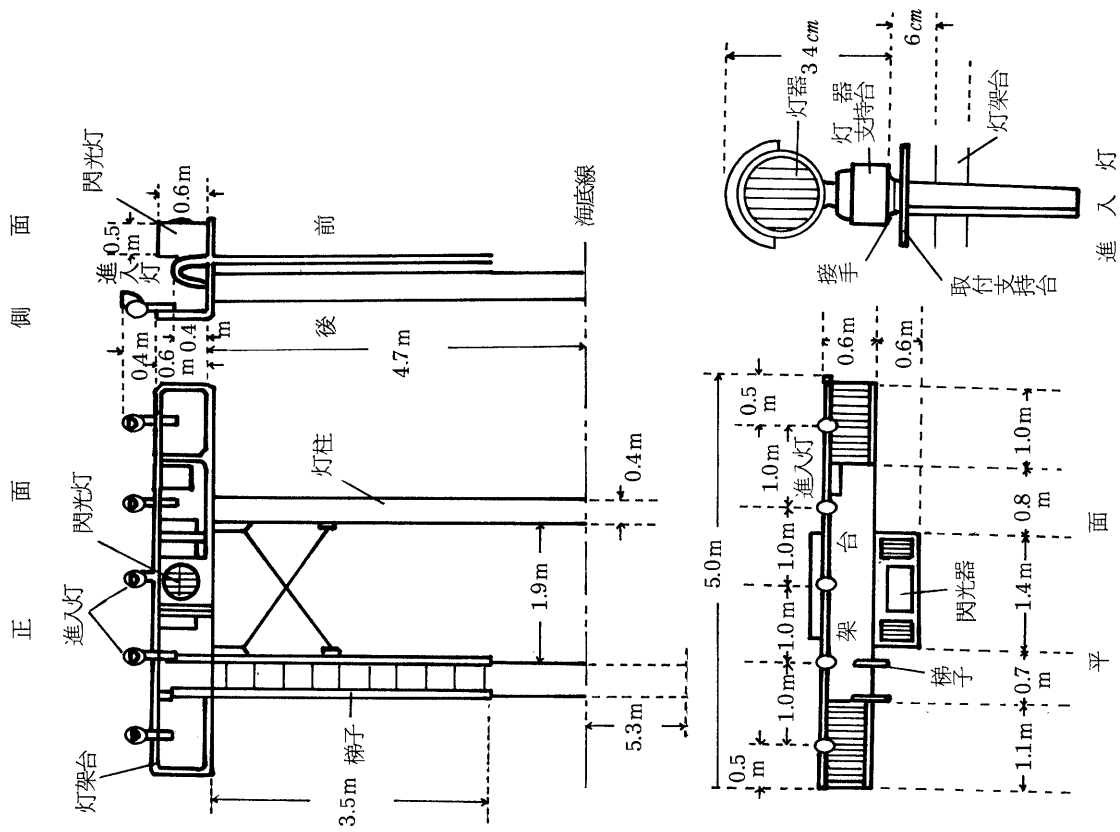


第9図 海 底 痕 跡 状 況

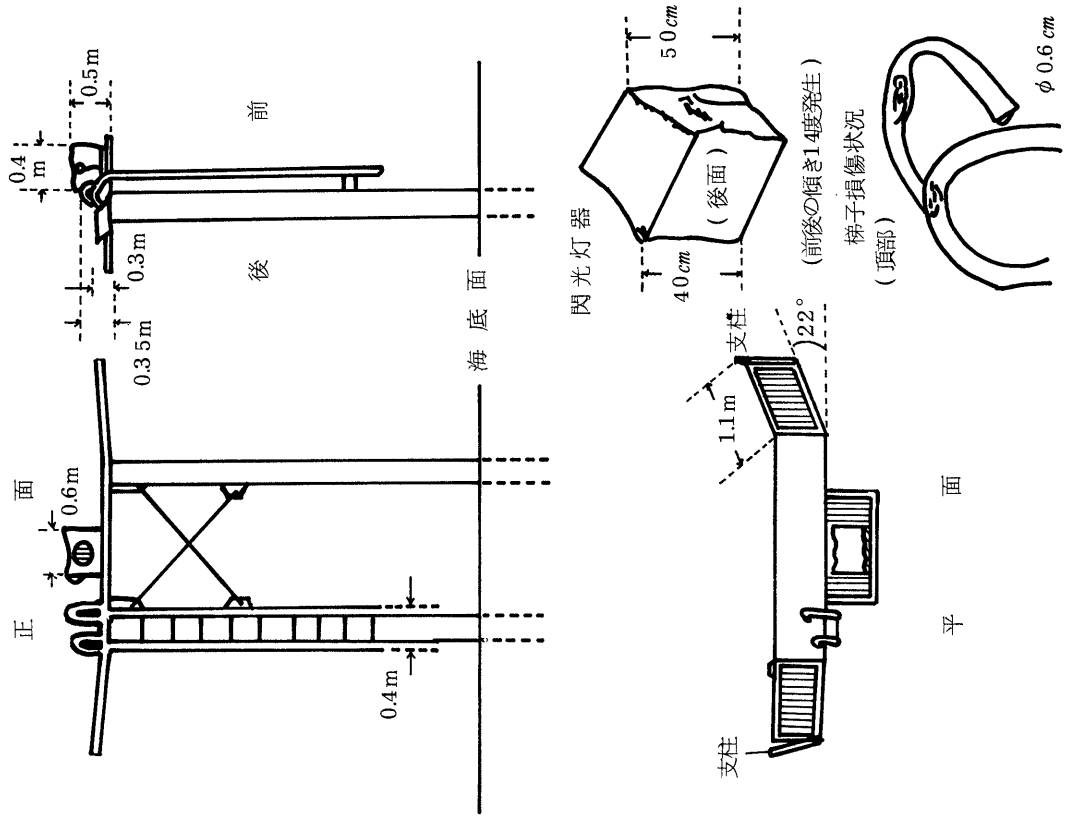
1 / 500



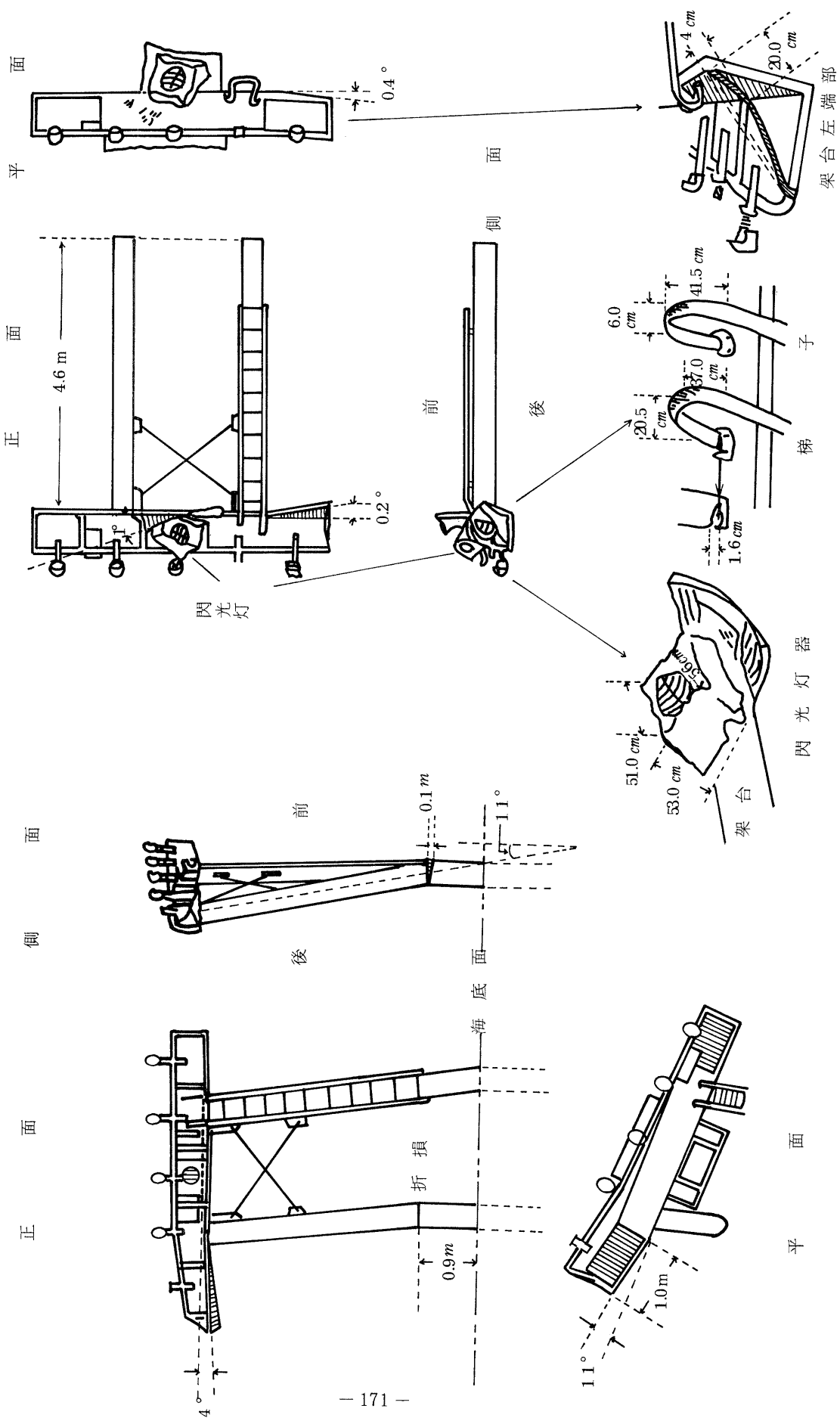
第10図 進入灯 構、造 図



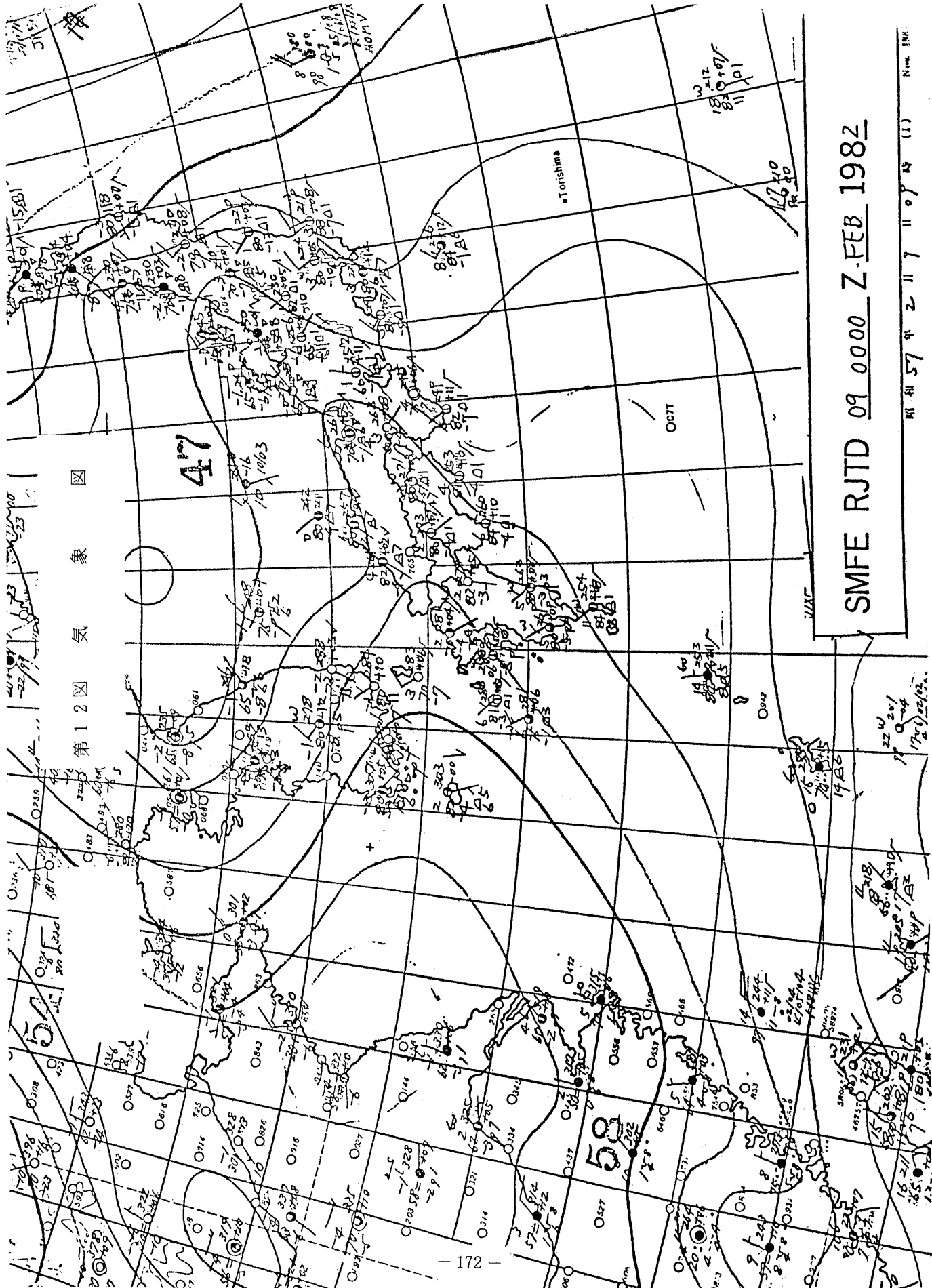
第11図 進入灯 損壊状況 (a) 第14番進入灯



(b) 第15番進入灯



(c) 第18番進入灯 (海底に倒れていた)



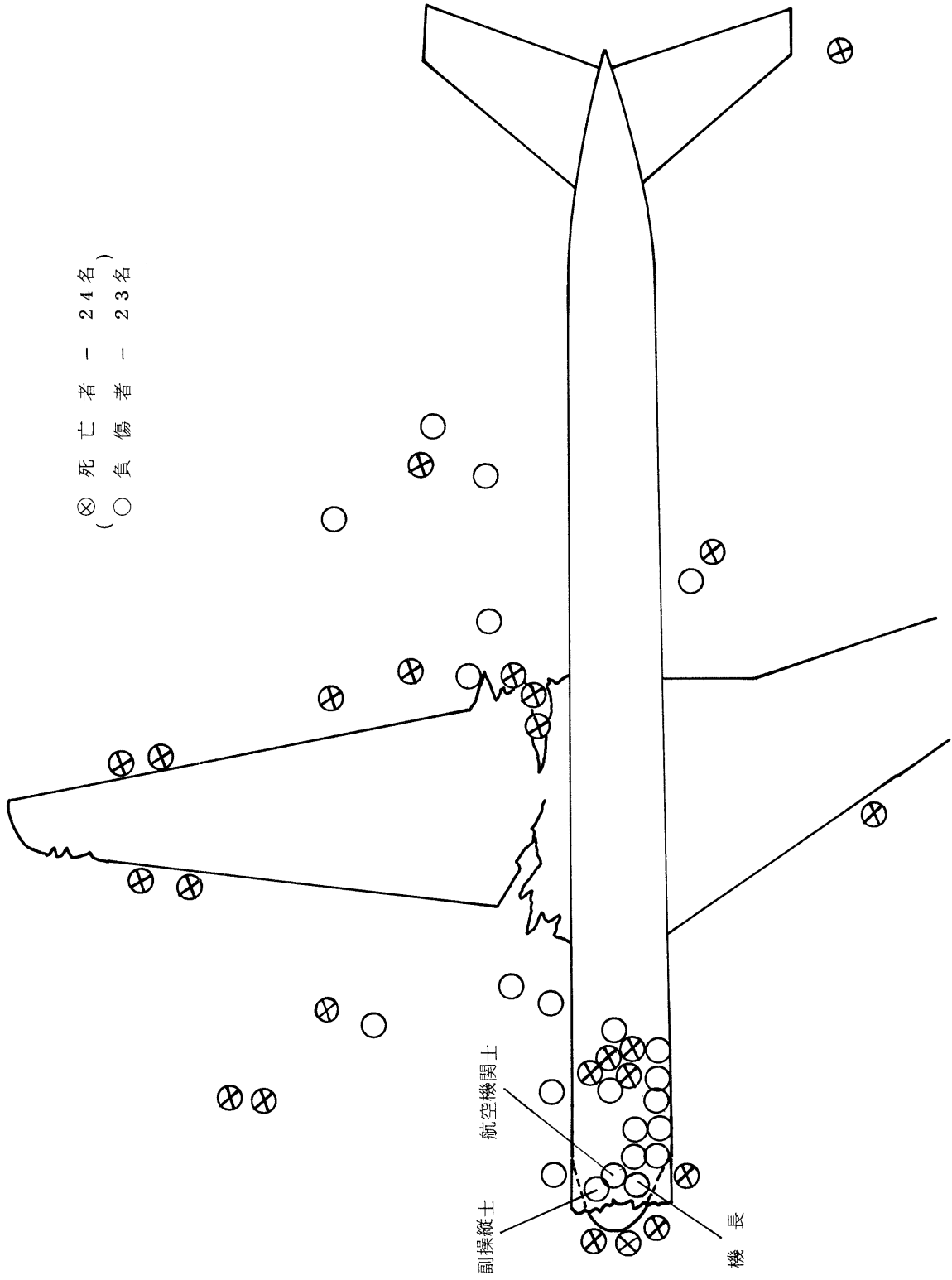
第 1 2 图 象 图

SMFE RJTD 09 0000 Z FEB 1982

第 47 号 2 11 7 11 0 9 号 (1)

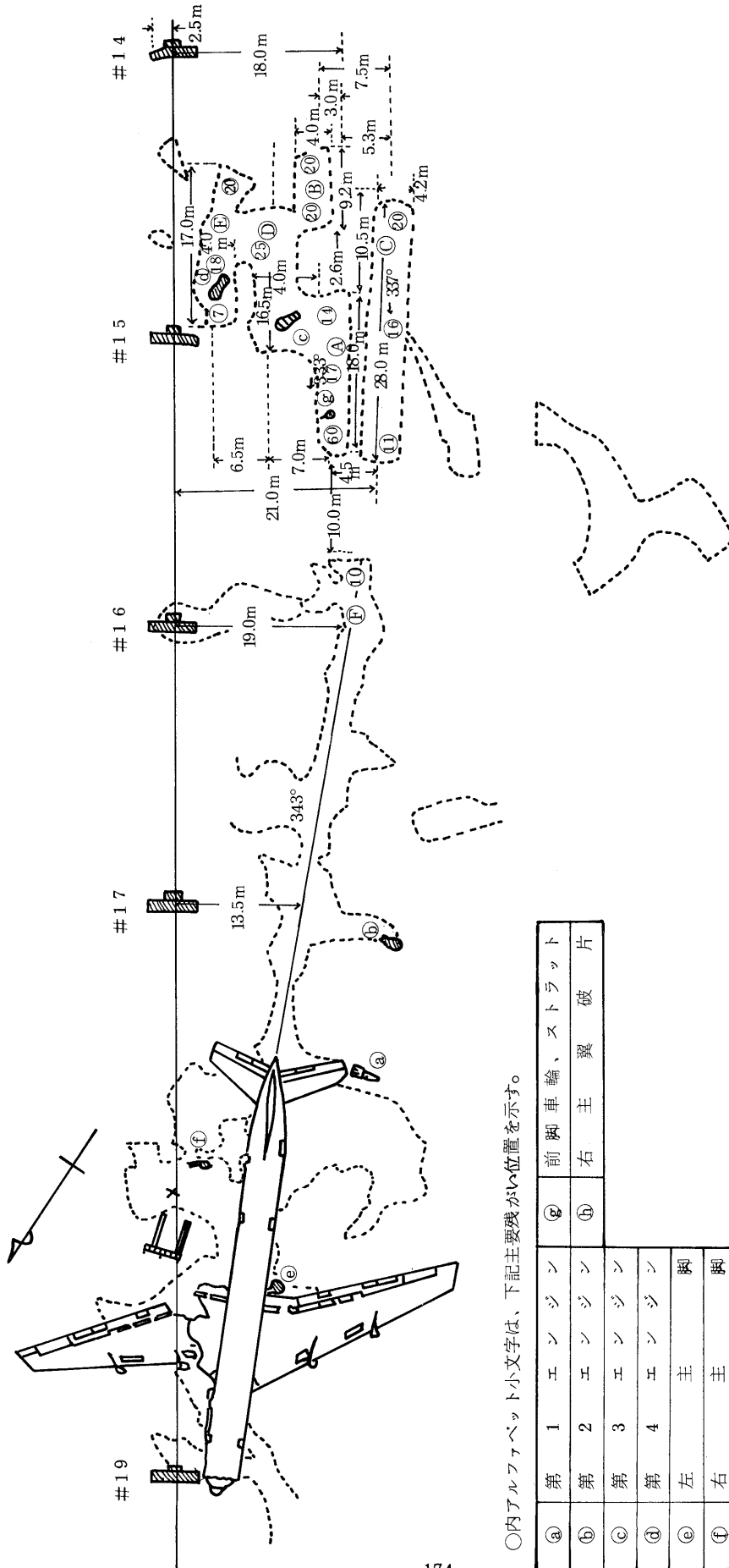
第 1 号

第13図 座席列11から前の座席に座っていた者の事故直後の位置



第14図 海底痕跡生成原因推定図

1/500



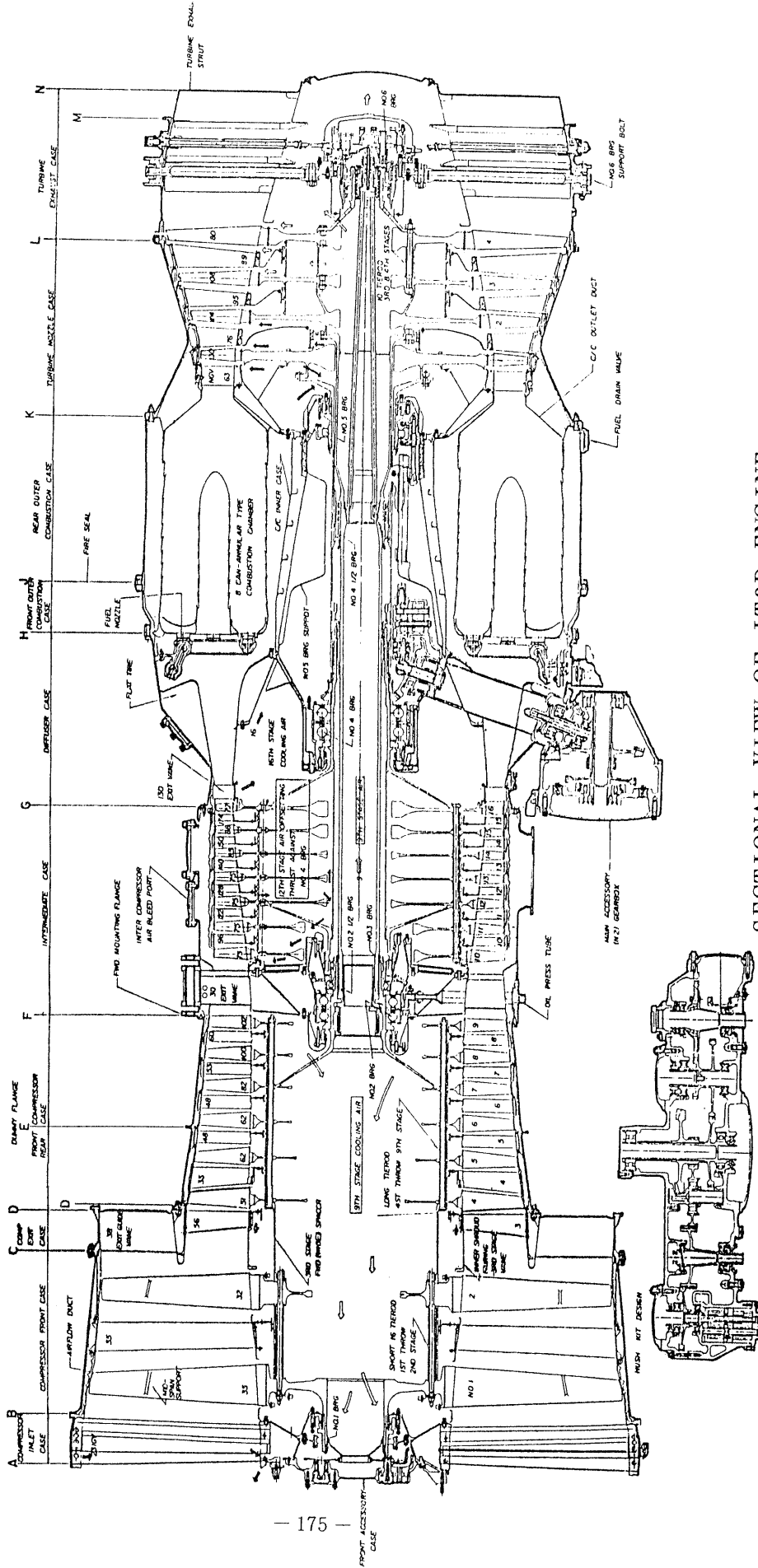
○内アルファベット小文字は、下記主要残骸の位置を示す。

④	第1エンジン	⑥	前脚車輪、ストラット
⑤	第2エンジン	⑦	右主翼破片
⑥	第3エンジン		
⑦	第4エンジン		
⑧	左主脚		
⑨	右主脚		

○内数字は、へこみの深さをセンチメートルで示す。

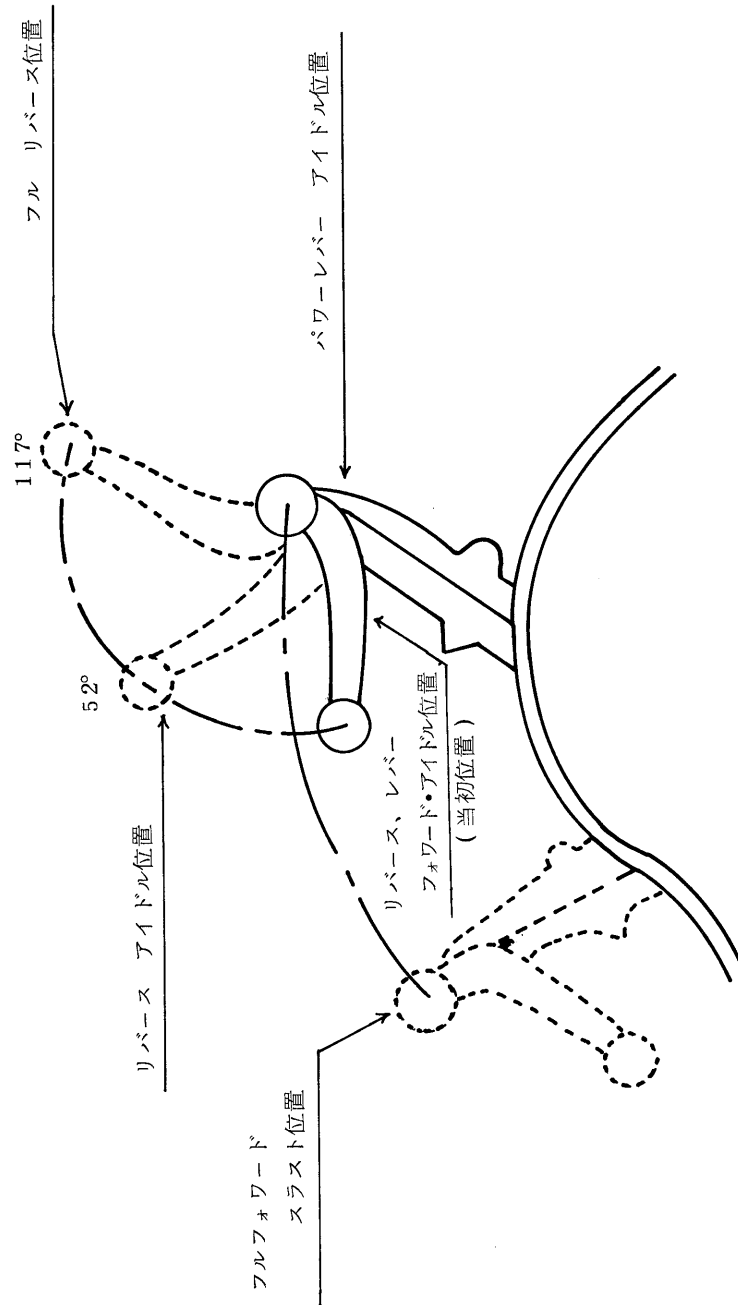
○内アルファベット大文字は、各痕跡別を示す。

第 15 図 エンジン構造概略図

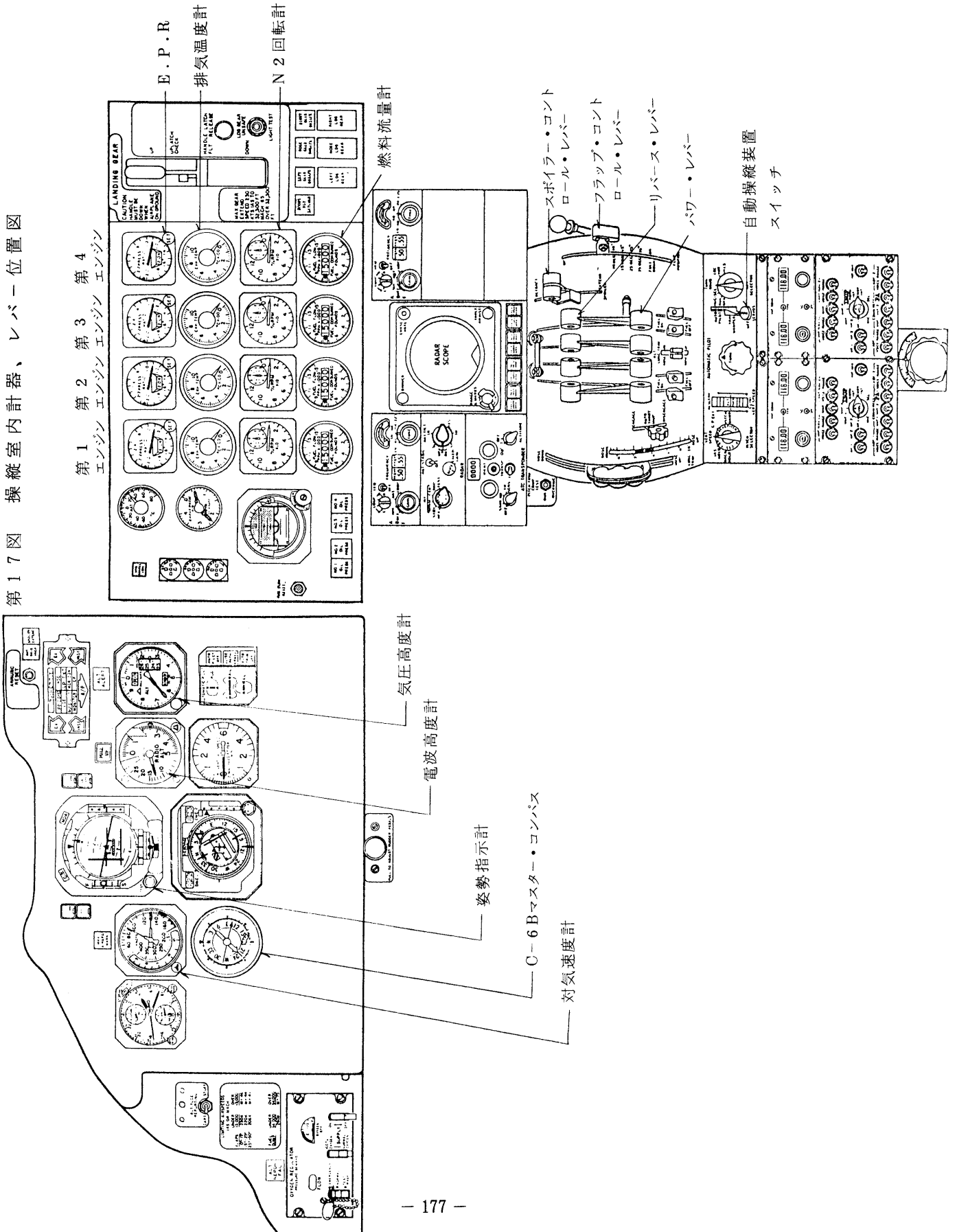


SECTIONAL VIEW OF JT3D ENGINE

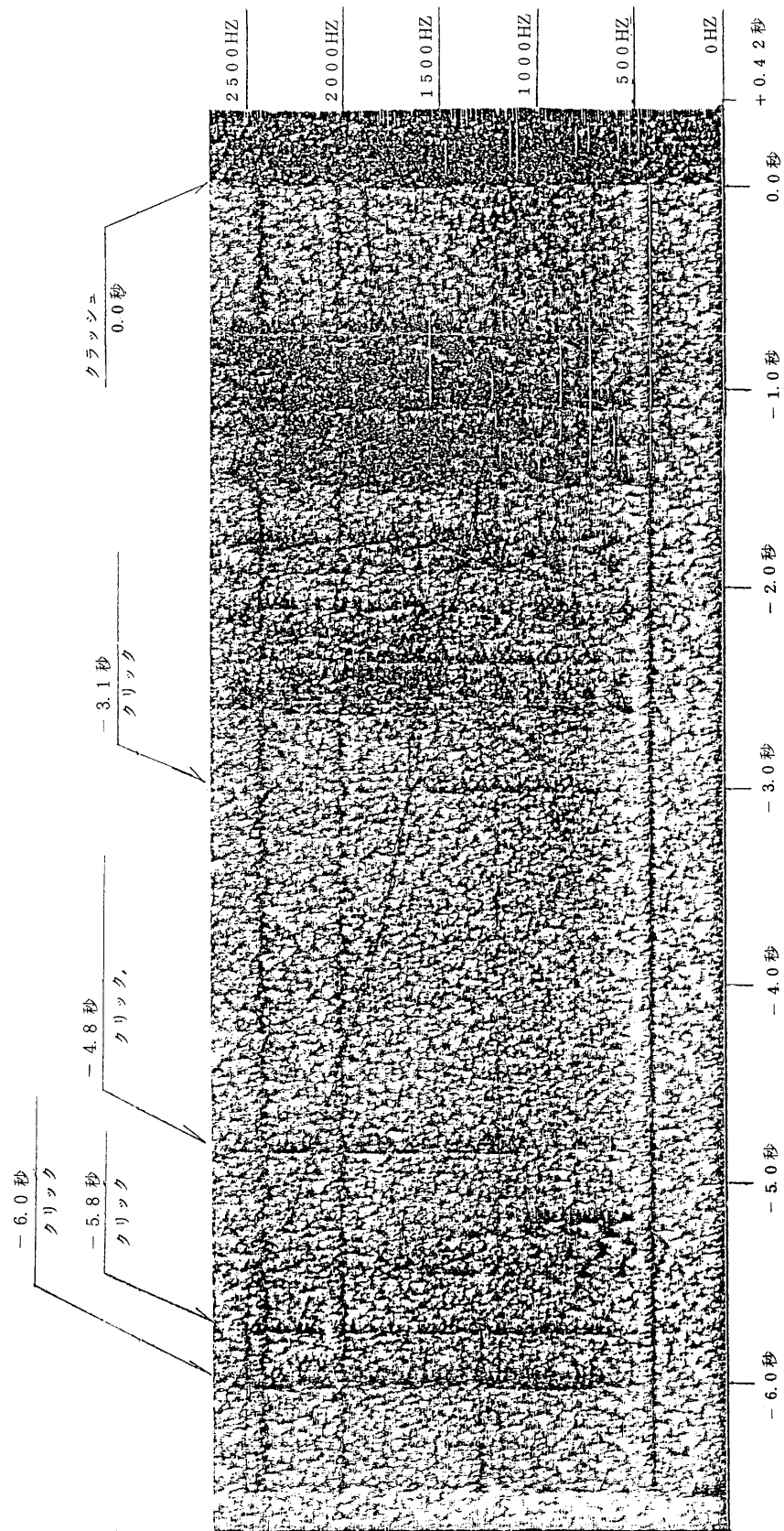
第16図 パワーレバー、リバース・レバース・レバース作動図



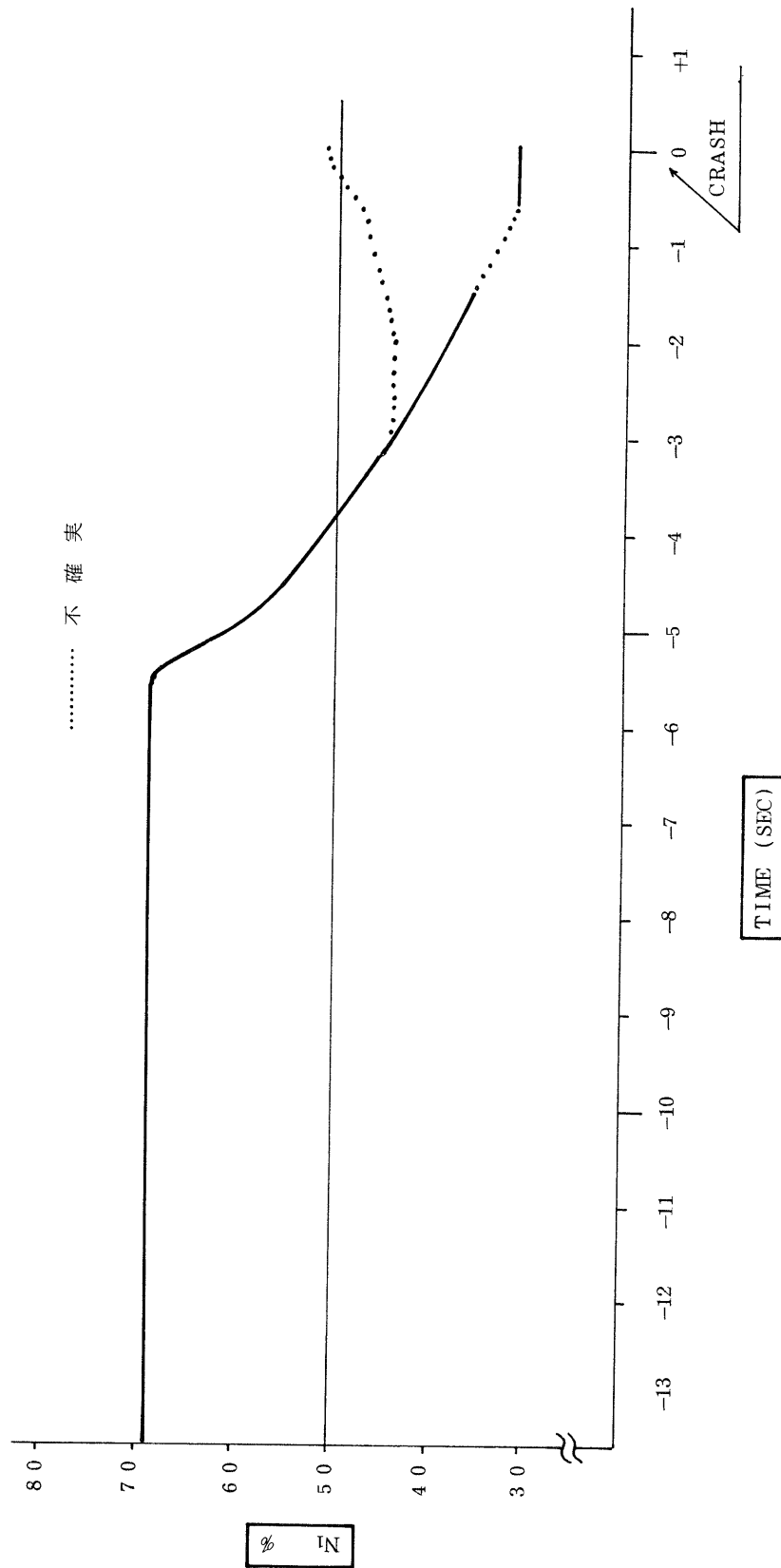
第17図 縦室内計器、レバー位置図



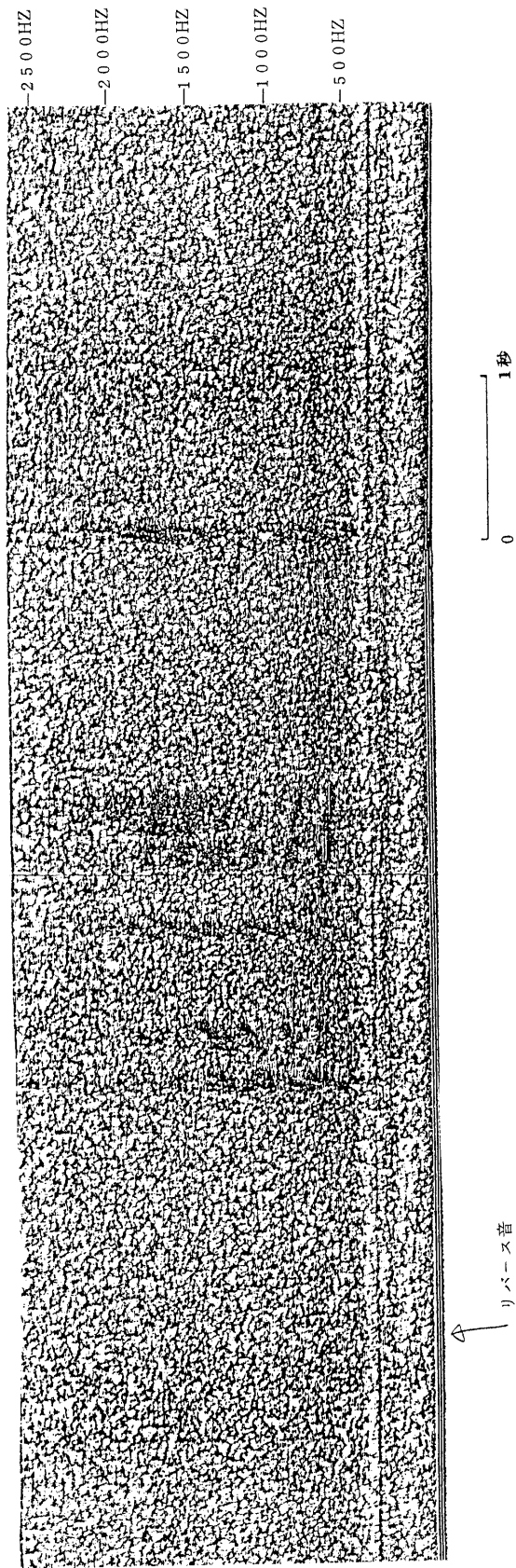
第18図 C V Rの最終部分の記録の音響スペクトル・パターン



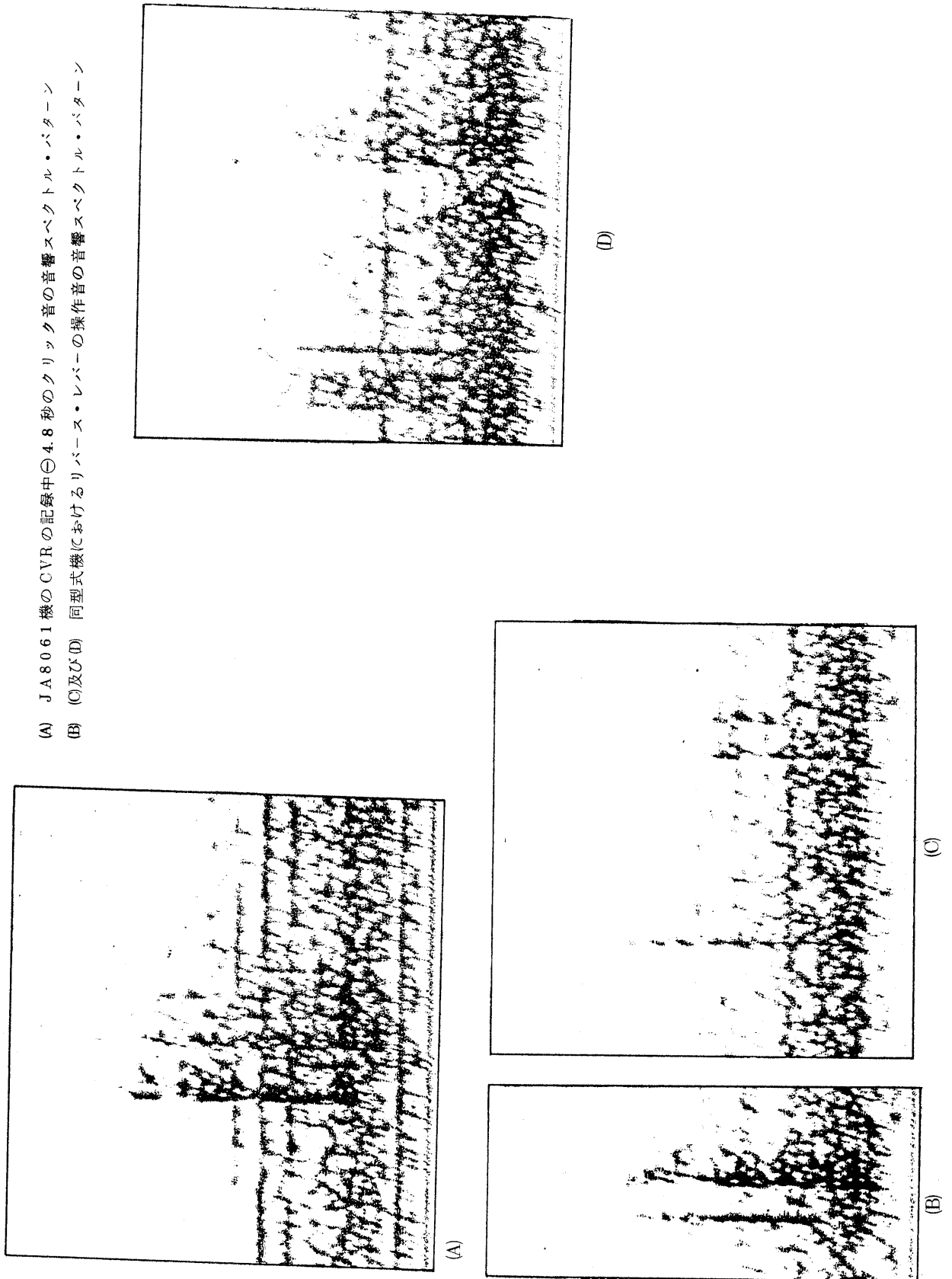
第19図 C V Rの最終部分の記録の音響スペクトル・パターンから
 推定される低圧コンプレッサの回転速度



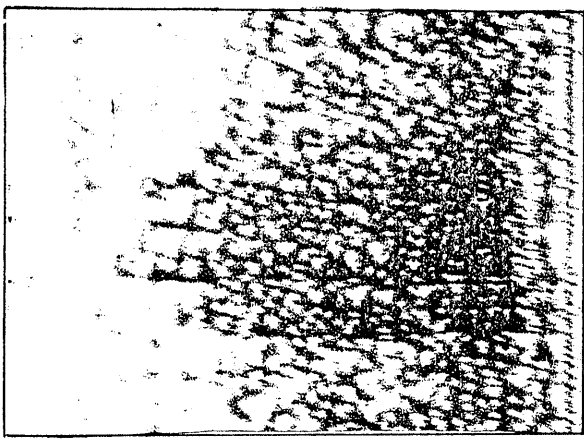
第200図 同型式機のリバース音の音響スペクトルパターン



第 2 1 図 リバース・レバース・レバースの操作音の音響スペクトル・パターン

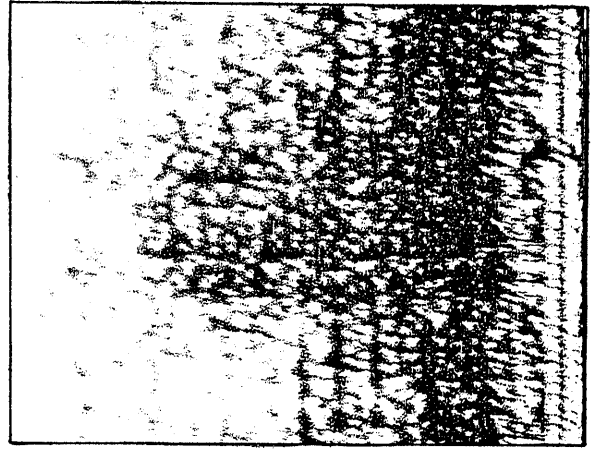


第22図 オート・パイロット・デイスエンゲージ時の音の音響スペクトル・パターン

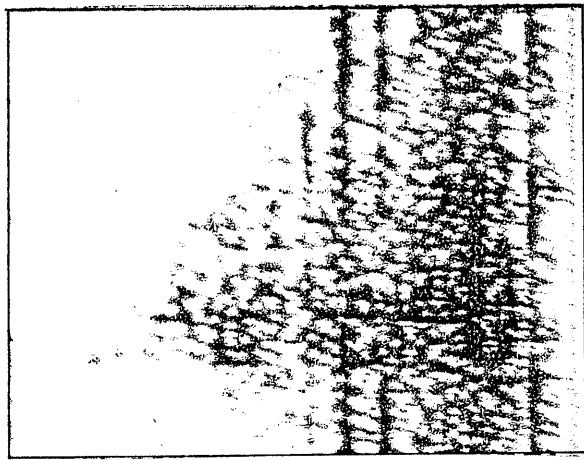


(A) JA8061機のCVRの記録中
 ⊖6.0秒のクリック音の音響
 スペクトル・パターン

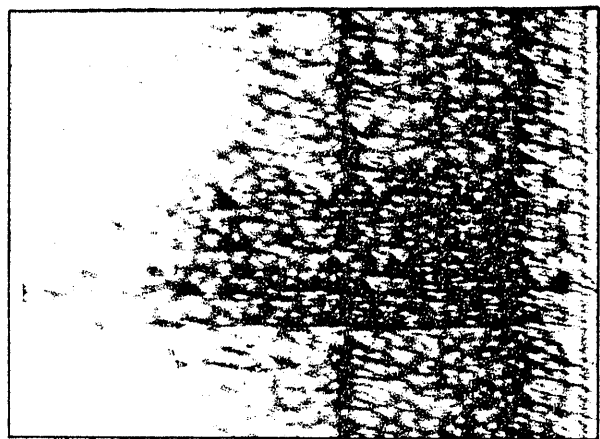
(B)及び(C)
 同型式機におけるオートパイロ
 ット・デイスエンゲージ時の
 音の音響スペクトル・パターン



(D) JA8061機のCVRの記録中
 08時40分03秒のクリック
 音の音響スペクトル・パターン



(A)

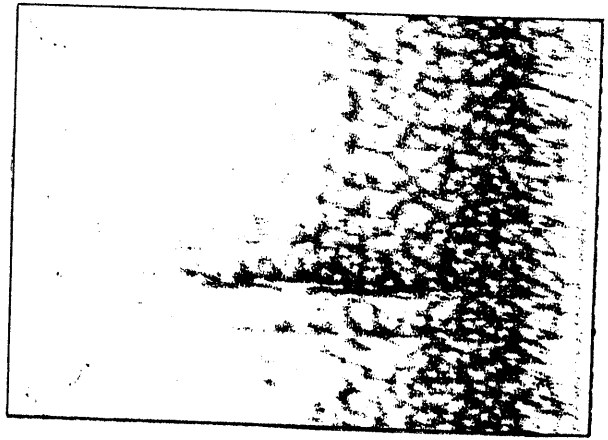
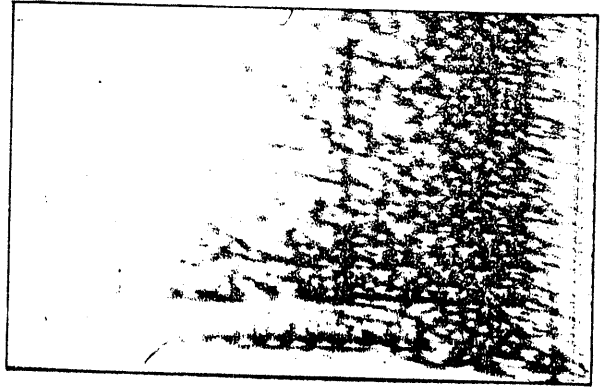
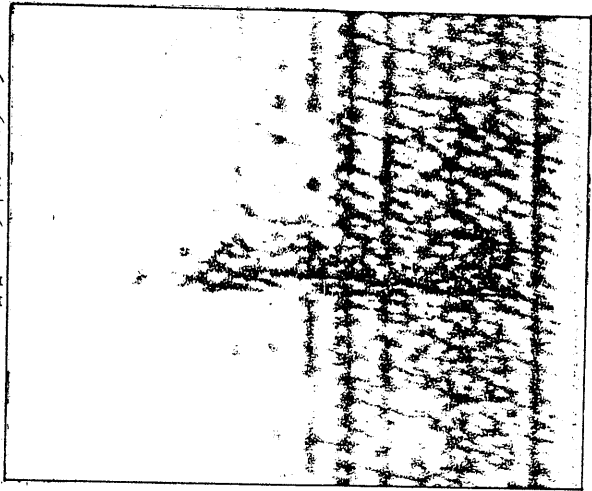


(C)

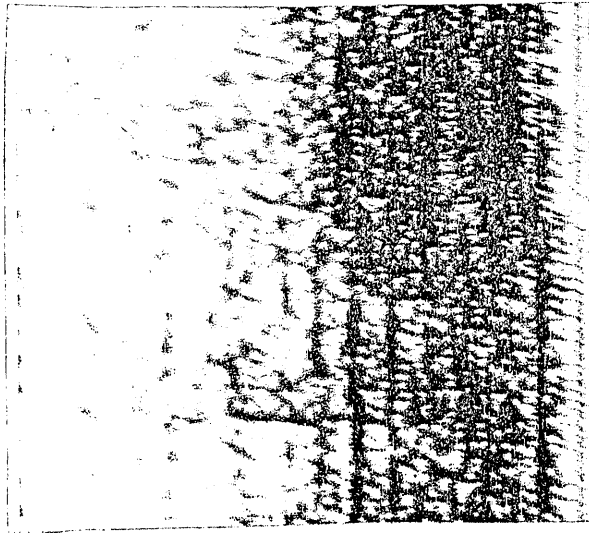
(D)

第 2 3 3 図 パワー・レバーをフォワード・アイドル位置まで戻した時の音の音響スペクトル・パターン

(A) JA8061 機の CVR の記録中 ⊕ 5.8 秒のクリック音の音響スペクトル・パターン
(B) 及び (C) 同型機におけるパワーレバーをフォワード・アイドル位置まで戻した時の音の音響スペクトル・パターン

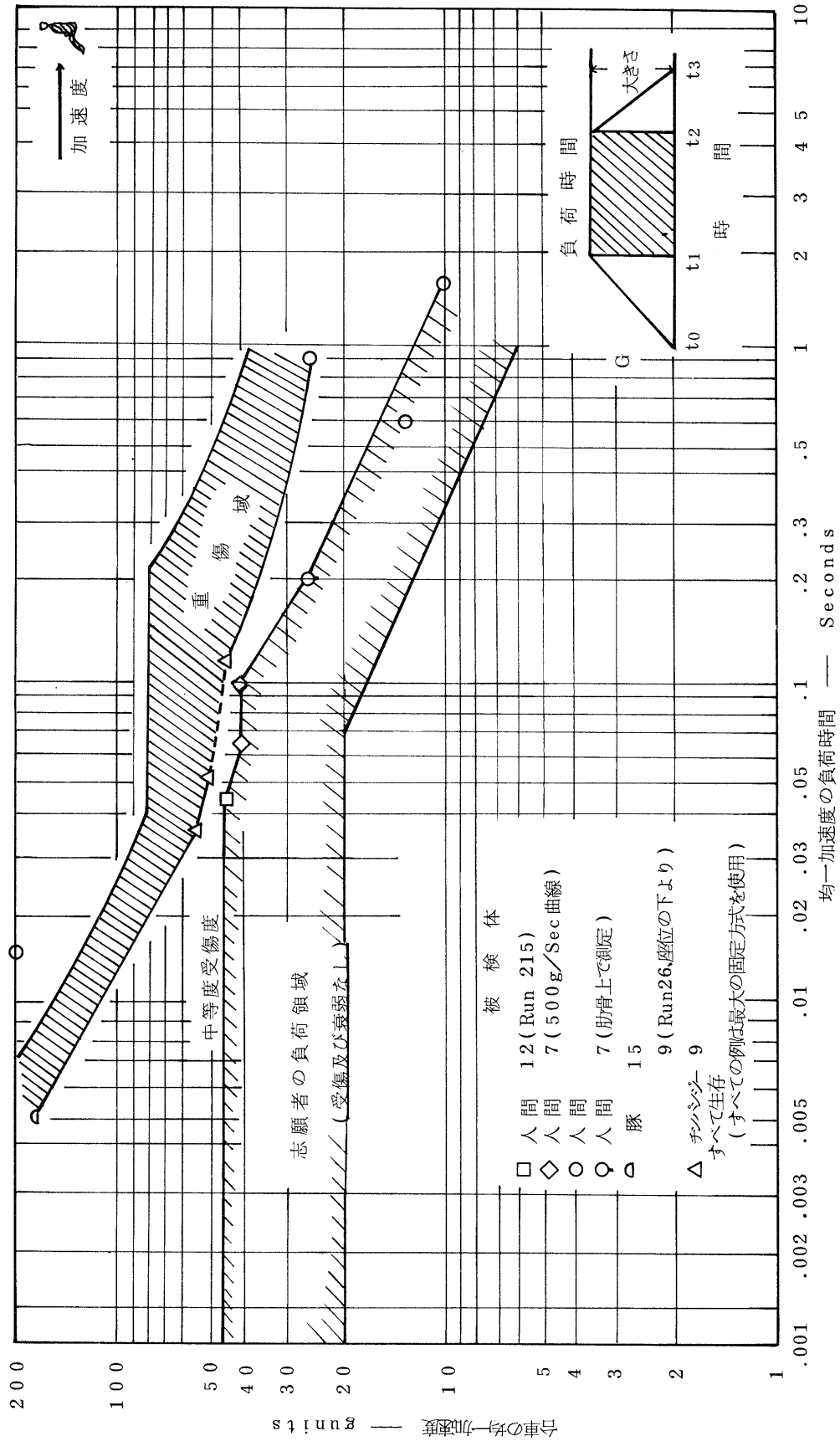


第244図 ー 3.1秒のクリック音の音響スペクトル・パターン

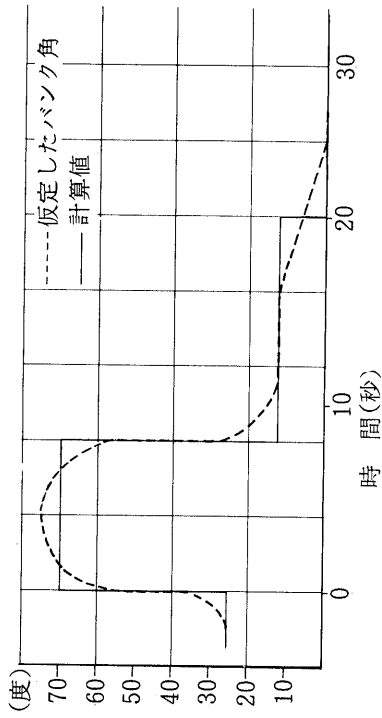


第 2 5 図 人体に及ぼす水平方向前方への G の影響

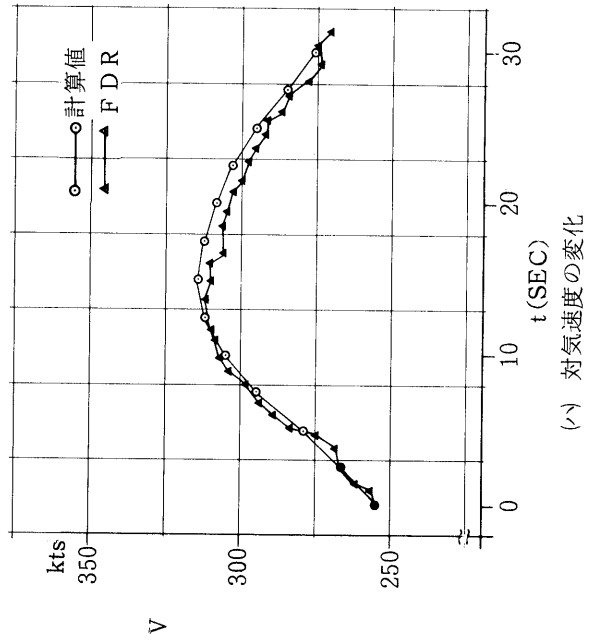
(ウェップ氏の資料)



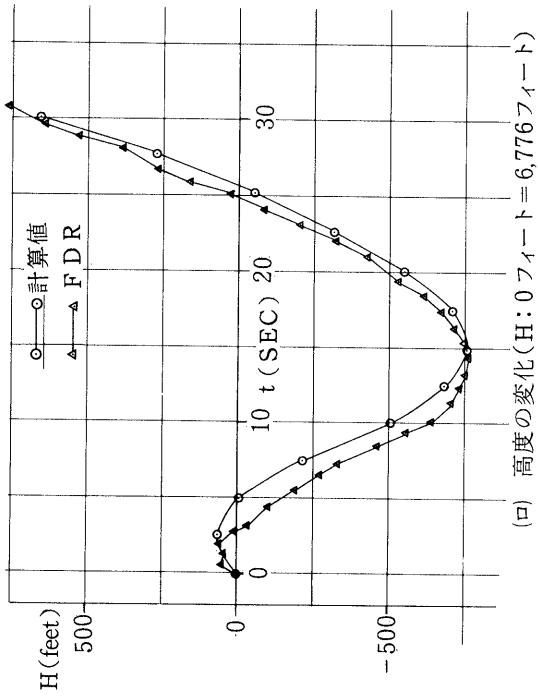
第 26 図 J L 377 便の異常旋回のシミュレーション計算の結果



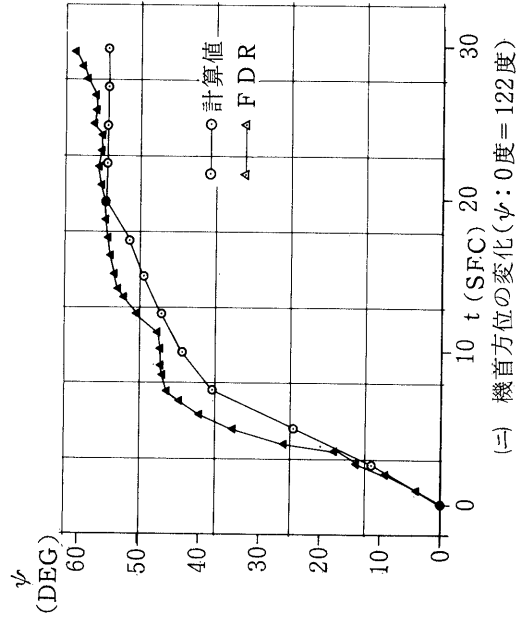
(1) バンク角の時間的变化



(2) 対気速度の変化

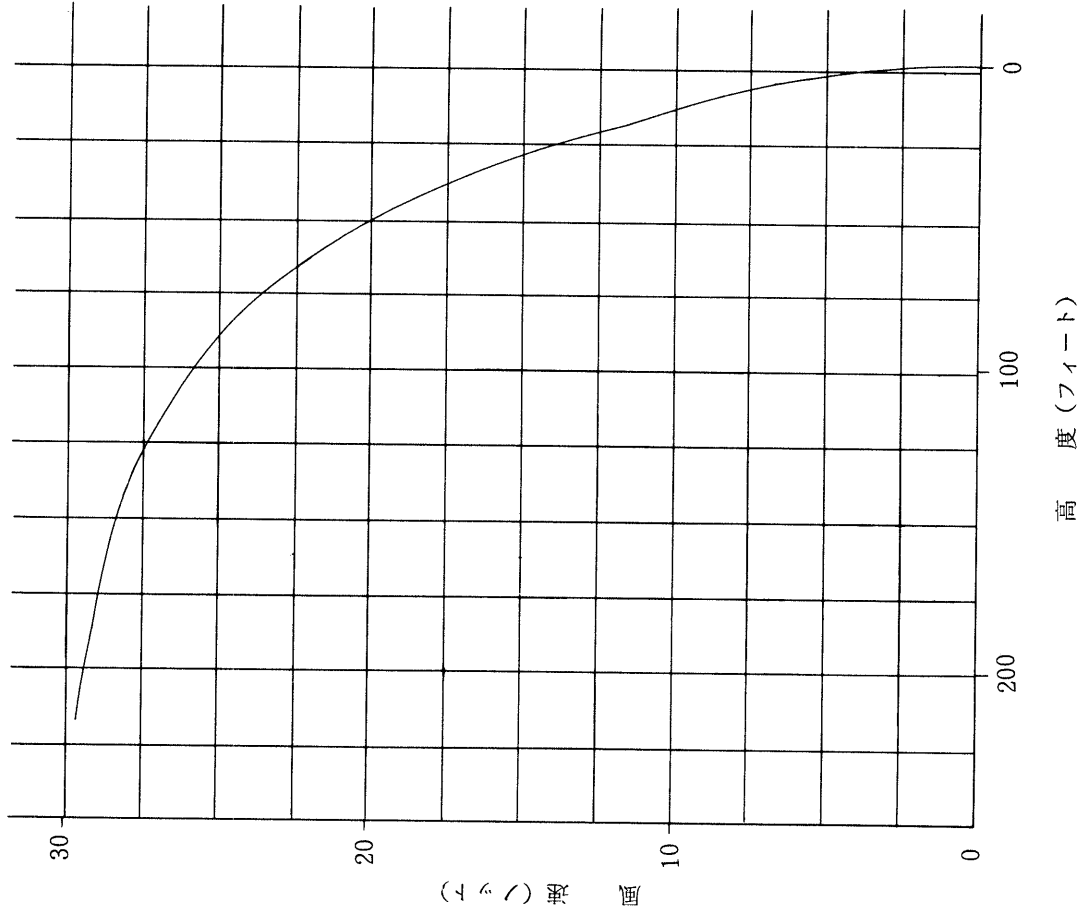


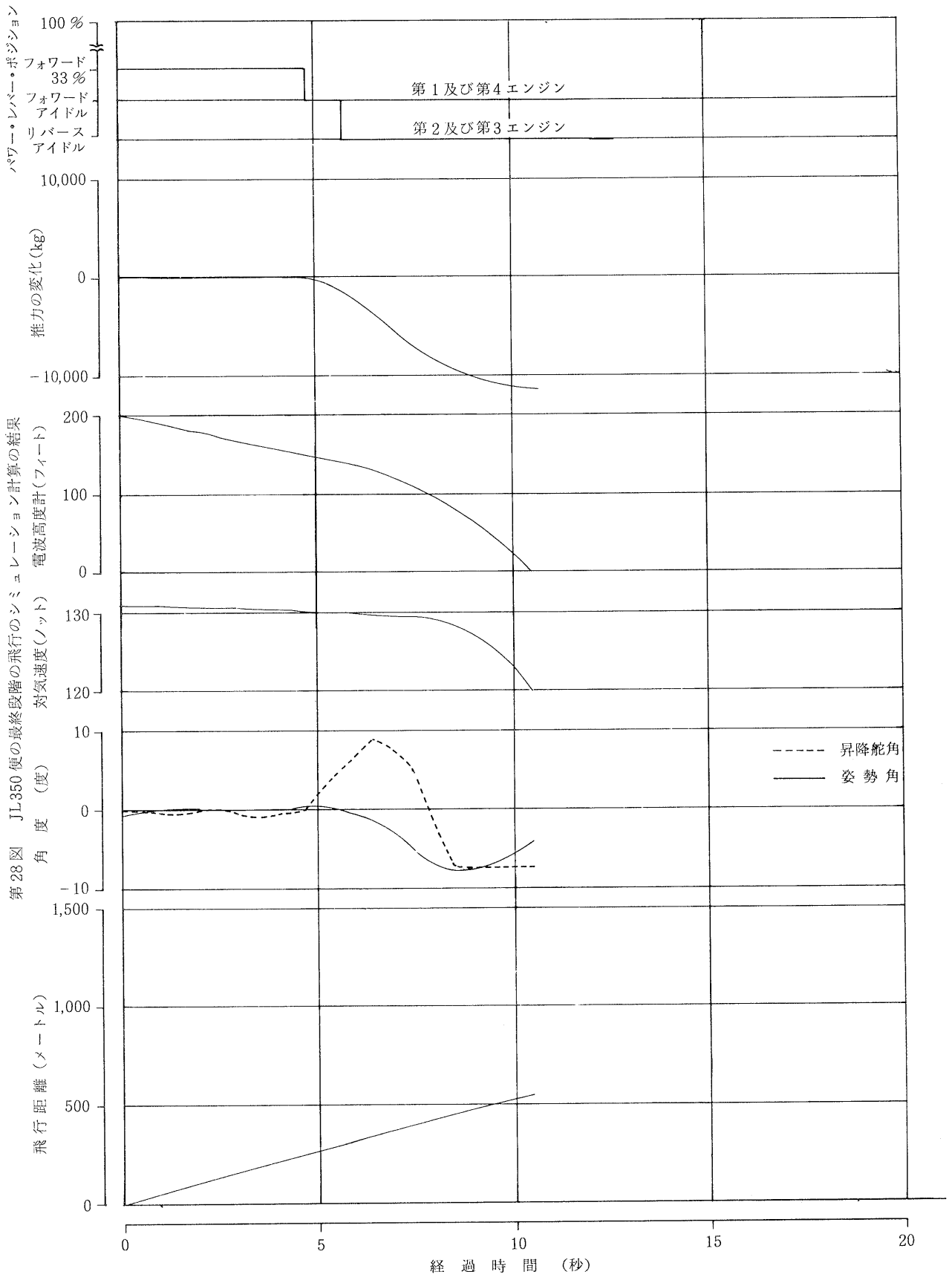
(3) 高度の変化(H:0フィート=6,776フィート)



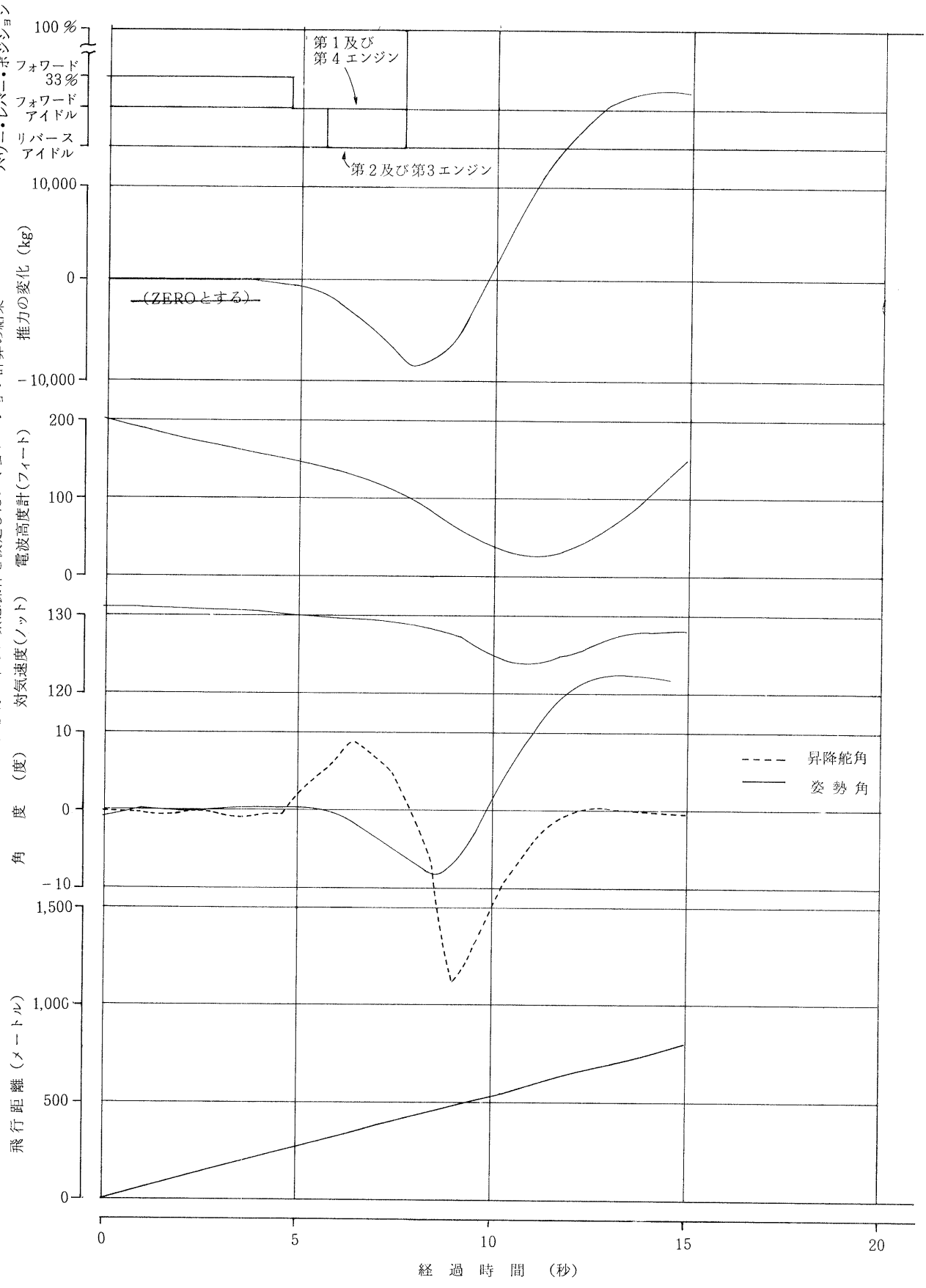
(4) 機首方位の変化(ψ:0度=122度)

第27図 JL350便の最終段階における飛行時の向かい風の成分





第29図 JL-350 機の最終段階において着陸復行に準じた緊急操作を仮定したシミュレーション計算の結果



第1表 ダグラス式DC-8-8-61型機の主要性能諸元 (日本航空機全集による。)

寸法	全幅	43.4メートル
	全長	57.1メートル
	全高	12.9メートル
重量	最大離陸重量	325,000ポンド(147,420キログラム)
	最大着陸重量	240,000ポンド(108,864キログラム)
性能	最大速度(TAS)	505ノット(935キロメートル)
	経済巡航速度(TAS)	461ノット(854キロメートル)
	失速速度(フラップ上げ、IAS)	167ノット(309キロメートル)
	(フラップ下げ、IAS)	111ノット(206キロメートル)
	上昇率	2,500フィート/分(762メートル/分)
	実用上昇限度	42,000フィート(12,802メートル)
	航続距離(燃料最大)	約5,390海里(9,955キロメートル)
	離陸滑走路長	10,000フィート(3,048メートル)
	着陸滑走路長	6,150フィート(1,875メートル)
エンジン	推力(4基)	18,000ポンド(8,165キログラム)
		離陸最大推力、排気ガス温度555度C、海面上、5分間

第2表 JL350便の最終段階の飛行経過に関するCVR及びFDRの記録並びに口述記録の対比

時間は、日本標準時及び()内は、墜落時として、その前を⊖、その後を⊕で表示した。

時 間	C V R		F D R	口 述 そ の 他	
	会 話 及 び 操 作 音	エ ン ジ ン 音			
08:43:50 (⊖17.45)	Approaching Minimum(COP)		IAS:ALT:M-HDG 132kt:300ft:335°	○OM通過後のEPR,第1&4は1.1強,第2&3は1.04~1.05(F/E)	
08:43:50 (⊖17.00)	Check(CAP)		08:43:52 335から左へ	○MM通過するころ,ひどい恐怖心(CAP)	
08:43:50 (⊖16.98)	MM信号音(作動開始)		131kt:220ft:332°		
08:43:56 (⊖10.58)	電波高度計音				
08:43:59 (⊖8.10)	200(F/E)				
08:44:00 (⊖7.24)	Minimum(COP)				
08:44:00 (⊖6.76)	Check(CAP)				
08:44:01 (⊖6.03)	Click(オート・パイロット解除)			130kt:164ft:328°	○高度150~200ftでAuto Pilot disengage(CAP)間もなく意識なくなる(CAP)。

08:44:01 (⊖ 5.76)	Click(パワーレバー・アイドル位置へ)				○機長の右手が出て、バッとパワーレバーを引いたのを見ている(F/E)。
08:44:01 (⊖ 5.46)	MM受信音(終了)		N1は、約69% 以後減少		○Power low とエンジン出力が低かったので叫び、パワーレバーを押した(F/E) ○機長が下がったので、力いっぱい操縦輪を引上げようとしたが、上らなかつた(COP)。
08:44:02 (⊖ 5.27)	We are Low (F/E) 又はPower Low (F/E)				○しぼったまま、手が前へ出たのを覚えている。 左手でパワーレバーを前に押した。レスポンスを得た(F/E)。
08:44:02 (⊖ 4.84)	Click(リバース・レバー操作)			130ktから減速し始め、 328°から右方向へ変針	
08:44:04 (⊖ 3.06)	Click(?)			126kt:138ft:331°	
08:44:04 (⊖ 2.68)	Glide Slope (GPWS)		約3秒前から リバース		○ある程度まで操縦輪を引き起こすことができ きたが、それ以上は引けなかつた。 機長を見ると依然として両手で突っ張るよ うに操縦輪を押していたのでたまらなくなっ て「キャプテン止めて下さい」と叫んだ (COP)。
08:44:05 (⊖ 1.96)	Captain (COP)				○機首と左翼から痰水(管制官) ○F/E右側の面が強い顔面制御、左鎖骨骨折。 ○右側ベルト痕2、左7、左右19
08:44:05 (⊖ 1.52)	Glide Sl..... (GPWS) やめて下さい(COP)		N1は、 約31%		
08:44:07 (⊖ 0.00)	Crash		N1は、 約51%へ	124kt:317ft:334.4°	
08:44:07 (⊕ 0.42)	録音終了				

第3表 機長に係る技能審査等の実施状況

審査実施日	審査種別	審査路線	線名	可否	根拠及び内容
54.11.22	技能(認定)	ローカル(実機)		合	航空法第72条第1項に基づく機長資格取得のための技能審査
54.11.26	路線(認定)	羽田→福岡→沖縄		合	航空法第72条第1項に基づく機長資格取得のための路線審査
54.11.30	"	福岡→成田→札幌→羽田		合	航空法第72条第1項に基づく機長資格取得のための路線拡張審査
54.12.4	"	成田→大阪		合	同上
54.12.7	"	大阪→成田		合	同上
55.4.10	技能(定期)	ローカル(実機)		合	航空法第72条第6項に基づく社内定期審査
55.6.21	路線(認定) 国際線移行	成田→モスクワ		合	航空法第72条第1項に基づく機長資格取得のための路線審査
55.10.23	路線(認定)	モスクワ→ロンドン		合	同上
55.10.24	路線(拡張)	ロンドン→モスクワ		合	同上
55.12.23	技能(定期)	シミュレーター		合	航空法第72条第6項に基づく社内定期審査
55.12.24	"	ローカル(実機)		合	同上
55.12.30	路線(定期)	福岡→成田		合	同上
56.6.27	技能(定期)	シミュレーター		合	同上
56.11.12	技能路線観察	羽田→福岡		合	健康管理上の社内技能・路線観察
56.11.13	"	福岡→羽田→沖縄→福岡→羽田		合	同上
56.11.24	技能(定期)	シミュレーター		合	航空法第72条第6項に基づく社内定期審査
56.11.25	"	ローカル(実機)		合	同上
56.12.5	路線(定期)	羽田→札幌→福岡		合	同上


(注)： 路線審査 — 規則第163条第2項第1号に掲げる事項に関する知識及び能力の審査。

技能審査 — 規則第163条第2項第2号に掲げる事項に関する知識及び能力の審査で、そのうち「シミュレーター」とは、DC-8-55シミュレーターによって行うものであり、「ローカル」とは、出発空港から出発空港に帰投する飛行において行うものである。

第1腰椎骨折、胸腹部擦過傷

状況の傷負、死亡の乗搭者側	St		St	
	頭椎捻挫、両下肢打撲	顔面・頸部・腰部打撲	顔面・頸部・腰部打撲	顔面・頸部・腰部打撲
1	顔面打撲、上肢皮フ炎 第12胸椎・第1腰椎骨折 頸部・上肢皮フ炎 第12胸・1腰椎間軟骨断裂、第1腰椎骨折 頭部・頸部打撲 5~7肋骨々折、上肢皮フ炎	頭部打撲、左足関節脱臼骨折、胸部皮フ炎	死亡(全身打撲) 死亡(溺水) 死亡(全身打撲)	
10	顔面・胸・腰部打撲(1-横突起骨折) 顔面・腹部打撲(右頬骨折)、下肢皮フ炎 死亡(頭部外傷) 死亡(全身打撲) 死亡(頭部外傷)	顔面・胸部打撲、左大腿骨折	死亡(頭部外傷) 頭部・胸部・下肢打撲、右肩脱臼、胸部皮フ炎 死亡(頭部外傷) 第4腰椎圧迫骨折 顔面・腰部打撲、右肋骨・左大腿骨折	
	前額・上下肢打撲 右眼瞼打撲 頭部・頸部・腰部・右上肢打撲	死亡(溺水)	死亡(頭部外傷)	前頭部打撲 顔面・腰部・下肢打撲
20	頭部打撲、頭部捻挫 顔面・上肢打撲 後頭部・頸部・上肢打撲 前額・頸部打撲、右第4肋骨々折 顔面・胸部・腰部打撲 頭部捻挫、右第4肋骨々折 後頭部・頸部・胸部・右肘打撲 前額部挫傷	頭部打撲 顔面・頸部打撲 頭部・腰部打撲	胸部・下肢打撲 右耳打撲 顔面・腰部打撲 頭部・頸部・下肢打撲 顔面・胸部・下肢打撲 前頭部打撲、左足関節脱臼骨折	
	下肢打撲 顔面・頸部・腰部打撲 顔面・胸部打撲 腰部打撲 腰部・背部痛のみ 胸骨・肋骨・第5腰椎骨折 顔面打撲、左大腿骨々折、肋骨々折 頭部・頸部・腰部・下肢打撲、右肋骨々折 顔面打撲 第1腰椎脱臼・骨折	第5腰椎右横突起骨折 両肩甲部痛のみ 腰部打撲 頸部・腰部・両下肢打撲 頭部打撲、第4・5腰椎棘間軟骨断裂 後頭部・頸部打撲 腰部捻挫	顔面打撲、第5腰椎圧迫骨折 胸部打撲、第5腰椎圧迫骨折 顔面打撲 腰部打撲 顔面・頸部・腰部打撲 頭部・下肢打撲、第5腰椎骨折 第12腰椎圧迫骨折 第7肋骨々折、左下肢打撲 後頭部・頸部・腰部打撲 前頭部・胸部・下肢打撲	
30	胸部・腰部打撲 頸部・腰部打撲 顔面・腰部・右下肢打撲 胸部打撲、第2腰椎骨折	胸部・腰部打撲 頭部捻挫	膝震盪 異常なし St	
40	腰部打撲 顔面・頸部・腰部打撲 頭部・頸部打撲(硬膜下血腫) 顔面・両下肢打撲 胸部・腰部打撲(第10肋骨々折) 後頭部・右肩打撲、第5腰椎骨折 顔面・胸部打撲(左第6肋骨々折) 腹部・腰部・肩・頸部打撲	腰部打撲		

右第7肋骨骨折


凡例  内は、客席床部の脱落部分を示す。

COP

第1腰椎折左第10肋骨々折、顔面擦過傷
顔面打撲、左鎖骨・両上腕骨々折

FE

5	死亡(頭部外傷) 頭頂部骨折、第1・2腰椎折、上肢皮フ炎 第1腰椎折(横突起)、左大腿骨々折 死亡(頭部外傷) 死亡(頭部外傷)	顔面打撲、左脛骨々折、腹部皮フ炎 死亡(頸髄損傷) 死亡(頭部外傷) 死亡(頭部外傷)	死亡(頭部外傷) 死亡(頭部外傷) 死亡(溺 水) 頭部切傷、右手関節脱臼骨折 死亡(全身打撲) 胸骨・左鎖骨・左肩甲骨骨折
	死亡(頭部外傷) 顔面打撲、2・5肋骨、左腓骨々折 前額・胸部・下肢打撲(肋骨々折) 右眼瞼・腰部・下肢打撲 顔面・頸部・腰部打撲 左側腹打撲、頸部捻挫 顔面・頸部・腰部打撲 頸部捻挫、右肋骨々折 頭部・頸部・腰部打撲 顔面・肩・腰部打撲	死亡(頭部外傷) 顔面打撲、第5腰椎圧迫骨折	死亡(頭部外傷) 第4腰椎圧迫骨折 前額打撲、左足外踝骨折 顔面・腰部下肢打撲 顔面打撲、頸部捻挫 顔面打撲、頸部捻挫 前額・胸部打撲 頭部・右手打撲 顔面・腰部打撲 右下肢打撲
20	顔面・頸部・腰部打撲 頭部・頸部・腰部打撲 頸部・腰部打撲 顔面打撲、第5腰椎圧迫骨折 顔面打撲(鼻骨々折) 頭部打撲、第5腰椎骨折、右第5中手骨々折 頭部・腰部・頸部打撲 前額・頸部・腰部打撲 頸部・胸部・腰部打撲	頸部・腰部・左膝打撲 前額・腰部・下肢打撲 頭部・頸部・腰部打撲 胸部・下肢打撲、第1腰椎骨折 顔面・腰部打撲	第3腰椎圧迫骨折 顔面・頸部・腰部・下肢打撲 前頭部・胸部・腰部・下肢打撲 胸部打撲、第5腰椎圧迫骨折 顔面・頸部・腰部打撲 顔面打撲、頸部捻挫 前額・腰部・右手打撲 腰部捻挫 顔面・頸部打撲 背部打撲、右手関節捻挫
	頭部・腹部打撲	頭部・腰部打撲	胸部打撲、第5腰椎圧迫骨折 頸部捻挫、第2腰椎圧迫骨折 胸部打撲
30			
40	胸部・腰部・下肢打撲	腰部捻挫 後頭部打撲、頸椎捻挫 顔面打撲、第3腰椎骨折	第4腰椎横突起骨折 頭部・頸部・腰部打撲 前額・頸部・腰部・下肢打撲 頸部・腰部打撲 顔面打撲、左肋骨々折 頸部・胸部・腰部打撲 頸部・骨盤、右下肢打撲 頭部打撲、頸椎捻挫

凡例  内は、客席床部の脱落部分を示す。

CAP COP

L1骨折 L1-10肋骨々折

両上腕・鎖骨々折

St St FE

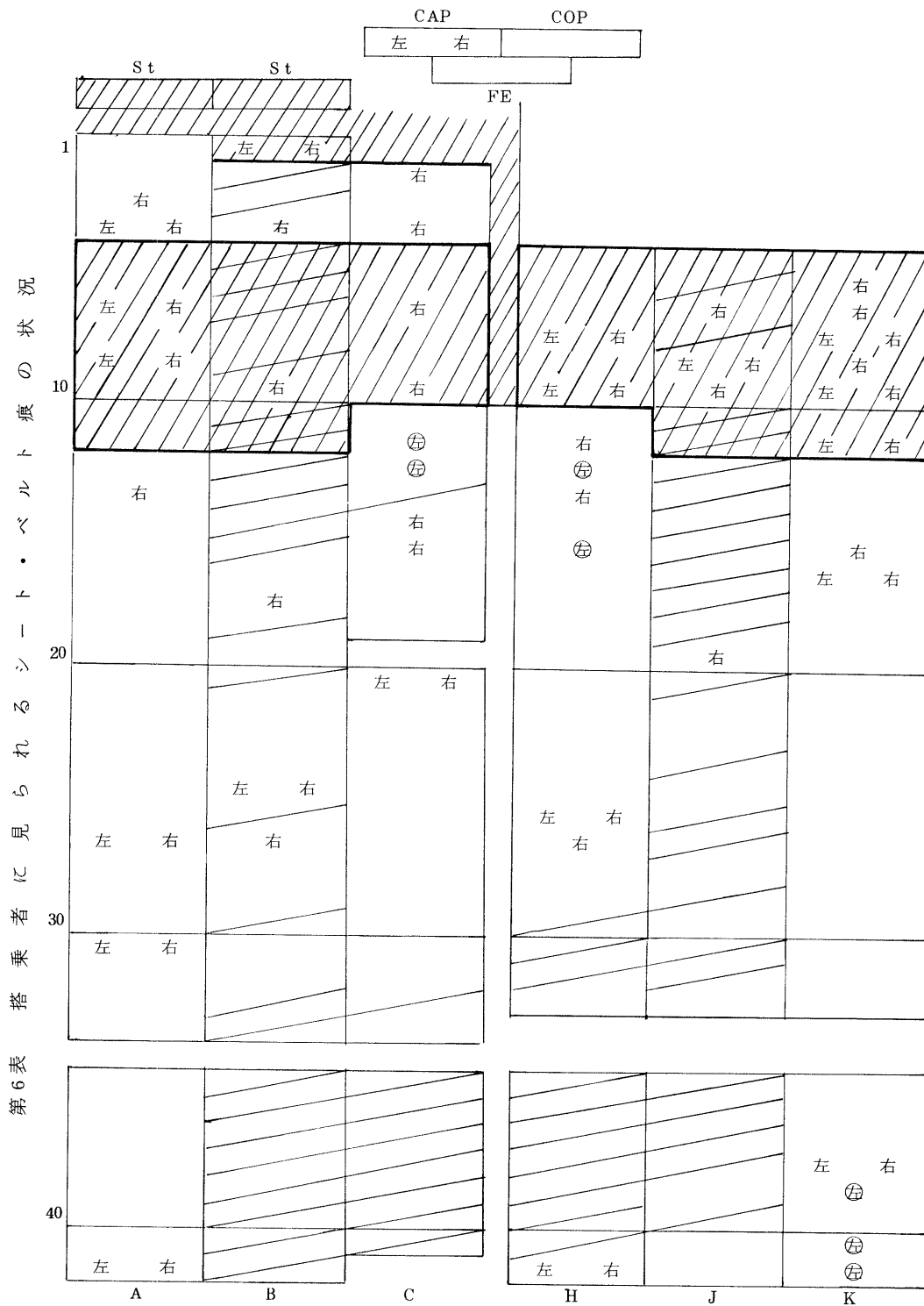
第5表 搭乗者の骨折状況の概況 (無記入は骨折なし、斜線は空席)

1	T12-L1骨折 L1骨折、T12-L1 棘間軟骨断裂 5~7肋骨々折	足関節脱臼・骨折 死亡	死亡	死亡	死亡	死亡
10	L1横突起骨折 右頬骨々折 死亡 死亡 死亡	右肩脱臼 死亡 左大腿骨々折 死亡	死亡 死亡 L4骨折 右肋骨・左大腿骨 死亡	死亡 頭頂骨・1,2,L骨折 L1・大腿骨折 死亡 死亡 死亡	死亡 死亡 死亡 死亡	下肢(左脛骨)骨折 死亡 死亡 右手関節脱臼骨折 死亡 鎖骨・胸骨・肩甲骨 死亡
20	右第4肋骨々折 右第4肋骨々折		左足関節脱臼骨折	肋骨・左腓骨々折 肋骨々折		左足外踝骨折
30	胸骨・肋骨・L5骨折 肋骨・大腿骨々折 右肋骨々折 L1脱臼・骨折	L5骨折 L4-5 棘間軟骨断裂	L5骨折 L5骨折 L5骨折 T12骨折 肋骨々折	L5骨折 鼻骨々折 L5・右第5中手骨	L1骨折	L3骨折 L5骨折
40	L2骨折					L5骨折 L2骨折
	10肋骨々折 L5骨折 右第6肋骨々折					L4骨折 左肋骨々折
	A	B	C	H	J	K

St

右第7肋骨々折

凡例 内は、客席床部の脱落部分を示す。



第6表 搭乗者に見られるシートの状況

ベルト痕 : 49名確認 < 右 > 左、 22名
 < 左 > 右、 7名
 左 ≠ 右、 20名

凡例 内は、客席床部が脱落部分を示す。

第7表 機長に係る受診、投薬処方、心身及び乗務の状況 (昭和55年11月15日以降)

年月日	診		療		心身の状況	乗務の状況 (CAはチャプレン乗務、COはコーパー(乗務、D日は便乗、OBはオブザーバと)としての乗務を示す。)
	診療機関、診断	投薬	処方	診断書、証明書又は意見書 (☑は診断書、☒は証明書、☑は意見)書を示す。		
55. 11. 15					吐き気をもよおす。	CA NRT-SVO CO
17					フライト・キャンセル	SVO-LHR OB
18					奇妙な操作多かった。	LHR-SVO CA
19					フライト・キャンセル	SVO-NRT DH
20	A病院 胆のう炎(疑)				フライトバックを機内に置き去る。帰宅後吐き気。	
25	B医科大学 うつ病	50mg	2.5mg	2mg	顔貌はうつ状、知、情、意の抑圧状態。	
27	健康管理室(航空身体検査証明のための検査)					
28	健康管理室(脳波検査)					
12. 2	B医科大学(☒)	7.5mg	2.5mg	2mg	☑慢性胃炎(急性化)。家庭での休養・加療が必要。約3Wの乗務禁止。	
4	A病院(胆のう検査)				☑心身症、暫く休養加療必要。	
8	健康管理室(航空身体検査のための診察)				☑胆のう炎(疑)、3W安静加療必要。	
15						
16	B医科大学(☒)	50mg	2.5mg	2mg		
17	健康管理室					
19					「宇宙から電波がくる」と同僚に述べていた。	HND-FUK DH1 FUK-OKA CO OKA-FUK CO
20						FUK-NRT CO NRT-HND CO

55. 12. 23	スルモンチール	50mg			HND-FUK DH2 Simulator (SIM) FUK-FUK FUK-HND DH2	} 定期機能審査
24	コントール	25mg				
29	トリブタノール					
30	エナデール	2mg				
56. 1. 6	B医大病院 (再)				HND-FUK DH1 FUK-NRT CA	定期試験審査
27	B医大病院 (再)		④心身症。通常勤務可能。	部室の中で正座し、一点を見つめていた。声をかけるとニヤッと笑った(父)		
2. 2	健康管理室		④心身症。病状消失。2W休養加療必要。	通院時、車を運転中へラーと笑っていた。(夫人)		
9						
10	B医大病院 (再)					
11				自宅で口寄せをしたら、突然なぐり倒された。顔ははれたら、びっくりにして待ってくれ、翌日病院に連れていってくれた。白々しい顔度のよりに感じた。(夫人)		
12	健康管理室		④心身症。2W自宅療養必要。3月から平常勤務。	自宅が海地でゴミかたまり多いのだが、それを誰かがわざとやっているのだと主張した。(夫人)		
24	B医大病院 (再)					
26	健康管理室		④心身症。通常勤務は可能。1Wの休養必要。専門医の同乗観察必要。			
3. 5			④心身症。経過良好。オアザバーとして乗務させる。			
7					HND-SPK OB SPK-HND OB	
9						
14					HND-SPK OB SPK-FUK OB	
15					FUK-SPK OB	

56. 3. 16				SPK-NRT CO 医師同乗観察 NRT-SPK OB SPK-HND OB
19				
20				
27				
28				
4. 1				欧州路線客から国内・南回り欧州路線室 へ配属替。 HND-SPK CO SPK-FUK CO FUK-OSA CO OSA-FUK CO FUK-OKA CO OKA-HND DH1
3				
4				
5				
8				
16				HND-OKA CO OKA-FUK CO FUK-SPK CO
17				
18				SPK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-HND CO
21				
28				HND-SPK CO
29				SPK-FUK CO FUK-OSA CO
5. 2				

⑤心身症 抑うつ状態。機長としての乗務復
婦困難。

脚腕式のパーテイド中、一人で廊下を抜
け出し、立止って一点を見つめていた。
(義兄・医師)

ド
グ
マ
チ
ー
ル
150mg

C医大病院 ⑦ うつ状態

56.	5.	7	健康管理室（航空身体検査証明のための診察）	ド グ マ チ ー ル	トリ ブ タ ノ ー ル	セ ル シ ン	このころ駅まで迎えに行ったり、車中で誰のいうことをきいているんぞと聞いて、突然顔をなくられた。(夫人)	HND-OKA CO
	10						着陸態勢に入ったとき、クッククックと笑った。	OKA-FUK CO
	11						乗務をキャンセルした。(機長)	FUK-HND DH1
	16		C医大病院 (甲)	60.0mg	75 mg	6mg		
	18							
	27		C医大病院 (心理テスト)	15.0mg	30 mg	6mg		
	30							
	6.	10	C医大病院 (甲)	15.0mg	30 mg		眠いけれど具合はよい。	
	11							
	12							S IM
	18							S IM
	22							
	24		C医大病院 (甲)	15.0mg	30 mg		コーパイロットとしては消極的で、クルー間の調和が不足している。疲労による注意力の散漫さがみられた。(チャッカー)	S IM
	26							S IM 定期技能審査
	27							
	28						上司、友人等から旅行に行っても行くより勧められ、一時はその気になるが、やはり止めようという。(夫人)	
	7.	2						HND-OSA DH1 OSA-FUK CO FUK-OKA CO OKA-FUK CO
		3						FUK-OSA DH1 OSA-OKA CO

⑤抑うつ状態。1カ月の休養加藤必要。

⑥経過良好で睡眠傾向みられる。

⑦経過良好、ショックスマンズ・チェック可。

56.	7. 4	ト グ ア チ 1 ル	ト リ ブ ア チ 150mg タ 30mg ノ 1 ル				OKA-OSA CO OSA-HND DH1
8		Ⓞ 医大病院					HND-OKA DH1 OKA-FUK CO
17							FUK-OSA CO OSA-OKA CO
18							OKA-OSA CO OSA-HND DH1
19							
22		Ⓞ 医大病院	150mg	75mg			HND-SPK DH1 SPK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-FUK CO
8. 1	5						FUK-OKA CO OKA-FUK CO FUK-OSA CO
6							OSA-FUK DH1 FUK-HND CO
7							
8		Ⓞ 医大病院	150mg	75mg			HND-FUK CO FUK-HND DH1
13							
19		Ⓞ 医大病院	150mg	30mg			NRT-OSA CO OSA-NRT CO
23							
29							HND-SPK DH1 SPK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-FUK CO
30							FUK-OSA CO
31							OSA-HND DH1

Ⓞ 自律神経失調症、抑うつ状態。8月及び9月前半はコーバイロット勤務。

56. 9. 3					HND-FUK CO
4					FUK-HND CO
5					HND-SPK CO
16	Ⓢ 医大病院	トリア グマ チール	150mg		SPK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-HND CO
19			30mg		HND-FUK CO
20					FUK-HND CO
21					HND-SPK CO
30					SPK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-HND CO
10. 4					HND-FUK DH1 FUK-NRT CO NRT-SPK CO SPK-NRT CO
5					HND-FUK DH1 FUK-OSA CO OSA-OKA CO
6					OKA-OSA CO OSA-HND DH1
14	Ⓢ 医大病院	ド グ マ チール	150mg		HND-OKA CO
18			30mg		OKA-HND CO
19					HND-FUK DH1
21					FUK-OKA CO
22					OKA-FUK CO FUK-NRT CO
24					NRT-FUK CO

Ⓢ 自律神経失調症、抑うつ状態、キャブテン
としての乗務支障なし。

医師
同乗飛行

56. 10. 25				FUK-NRT CO NRT-FUK CO
26				FUK-HND DH1
11. 5				HND-SPK CO SPK-HND CO HND-SPK CO
6				SPK-NRT CO NRT-SPK CO
7				SPK-HND DH1
10				
11				
12				
13				
17				
19				
20				
21				
24				
25				
28				
29				

トリアタノール
ドグマチール

④ 自律神経失調症、抑うつ状態、機長として乗務支障なし。国内線規定は段階的緩和予定。経過観察の治療は継続。

健康管理室

C医大精航 ④

150mg

健康管理室（航空身体検査証明のための診察）

通航乗務員査定委でキャブレン復帰の報告

)定期検査

56. 12. 1				HND-OSA DH1 OSA-OKA CA
2				OKA-OSA CA OSA-HND DH1
5				HND-SPK CA } 定期検診 SPK-FUK CA } FUK-HND DH1
6				HND-SPK DH1 SPK-HND CA HND-OKA CA
7				OKA-OSA CA OSA-HND DH1
9	C医大病院 (甲)			
10			以前よりもよくなったが、ふさぎこんでいるようだ。(父)	HND-FUK DH1 FUK-NRT CA
12				NRT-FUK CA
13				FUK-NRT CA NRT-FUK CA
14				FUK-HND DH1
17				HND-OSA DH1 OSA-FUK CA FUK-OSA CA OSA-HND DH1
18			妻に対し裏切り者といった。(妻)	HND-FUK CA FUK-SPK DH1
20				
21				SPK-HND CA HND-SPK CA SPK-HND CA
22			娘に対し、理由なく、とろとろのいいことを聞かなくなったね、といった。(妻)	

トグマチール

←150mg

56. 12. 24	ド グ マ チ ー ル			<p>HND-SPK CA SPK-OSA CA OSA-HND CA</p> <p>HND-FUK DH1 FUK-OSA CA</p> <p>OSA-FUK CA FUK-OSA CA</p> <p>OSA-FUK CA FUK-HND DH1</p>
26				
27				
28				
31				
57. 1. 2			<p>妻は妻家、両親と一緒にだった。 話をしても十分な応答がない。(同様)</p>	<p>HND-FUK DH1 FUK-OSA CA</p> <p>OSA-FUK CA FUK-OSA CA</p> <p>OSA-FUK CA FUK-HND DH1</p>
3				
4				
5				
11				
12				
13				
16				
17				
19				
24				<p>HND-OKA CA OKA-HND CA</p> <p>HND-SPK CA SPK-OSA CA OSA-OKA CA</p> <p>OKA-HND DH1 HND-FUK CA FUK-HND CA</p> <p>HND-SPK CA SPK-HND CA HND-OKA DH1</p>

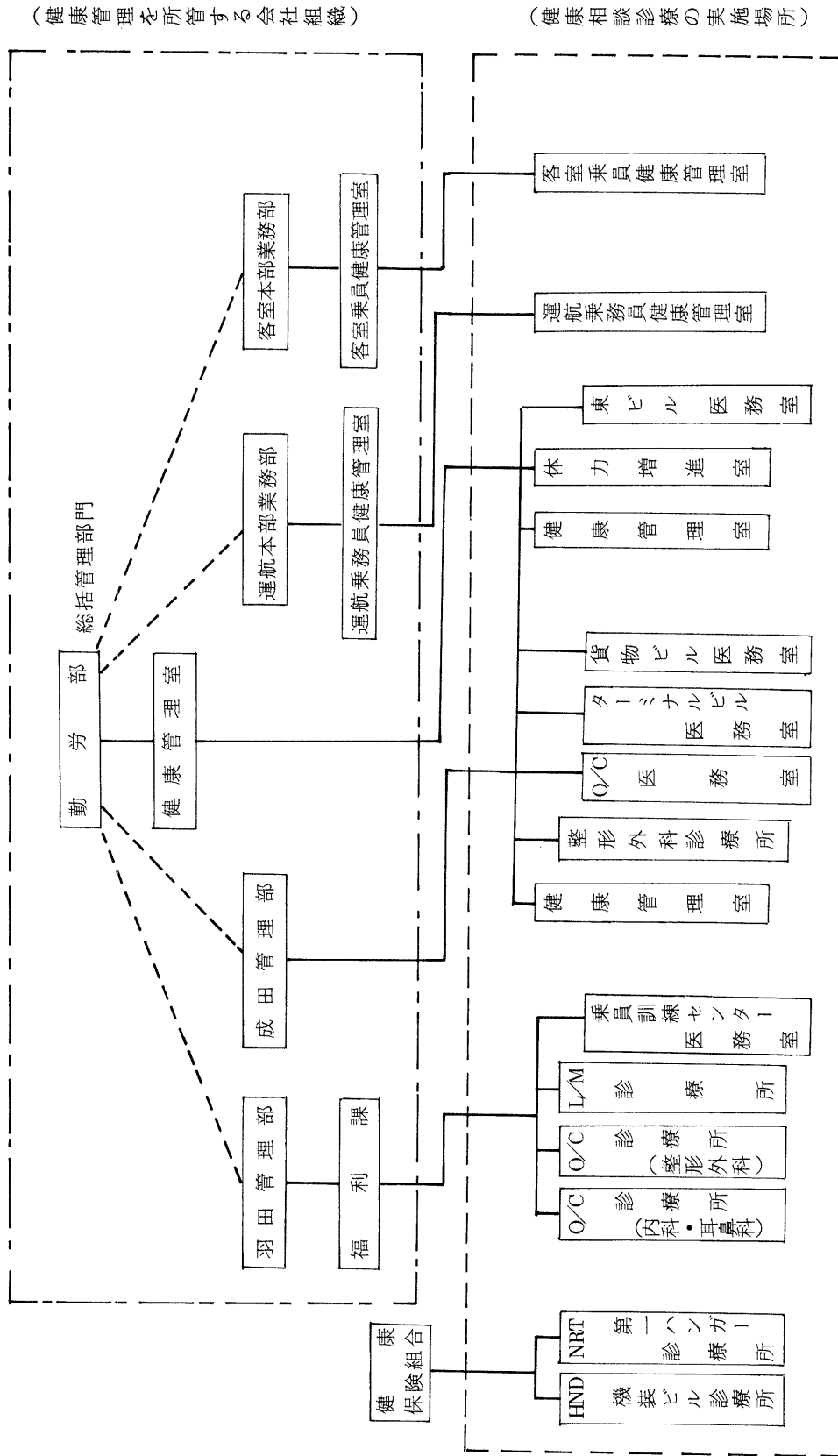
旅行の誘いに行ったが、30分後には忘れていた。本当に治ったのかと思っ
た。(同様)

57. 1. 25				OKA-OSA CA OSA-SPK CA
26				SPK-NRT CA NRT-SPK CA SPK-HND CA
29			いらいらして、ゆとりのない人だと思 った。(同僚)	HND-FUK CA FUK-SPK CA SPK-FUK CA
30			ホテルでクルー全員で食事、皆が笑 って、ひとり笑わず、人の顔を凝視 していた。(同僚)	FUK-HND CA HND-OKA CA
31				OKA-HND CA
2. 3				NRT-FUK CA FUK-HND CA
8			吐き気	HND-FUK CA (深いバンク)
9			吐き気。イネイネの声でした。	FUK-HND CA (事故)

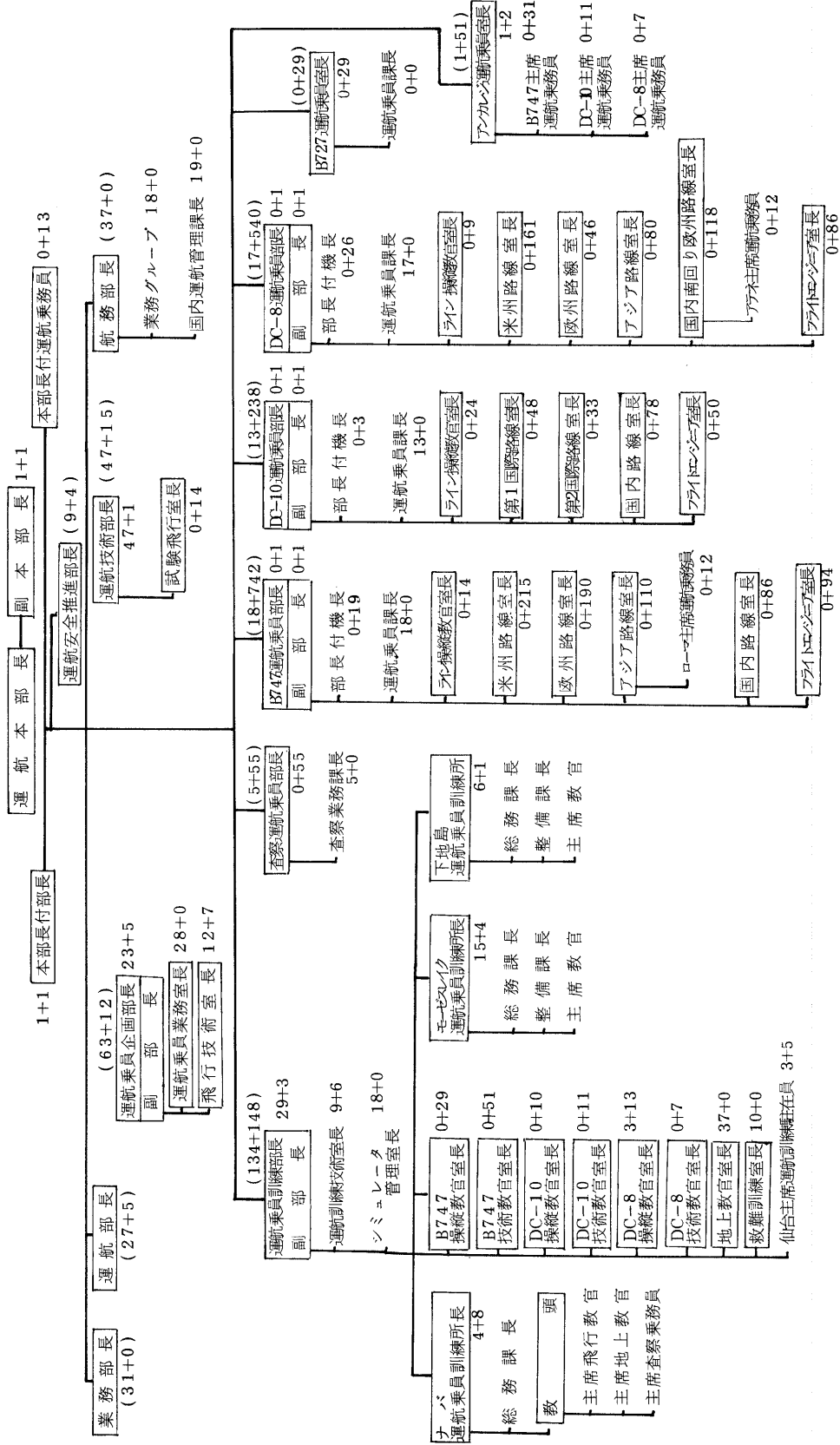
(注) 精神神経用剤の適応症状及び用法(薬物療法の実験・第2編 改定薬のまとめ 1981年版等による。)等は、下表のとおりである。

(薬名) スルモンチール	(薬名) トリブタノール	(薬名) コントール	(薬名) エナゼール	(薬名) ドグマチール	(薬名) セルシン
三環系抗うつ剤で、精神神経科領域におけるうつ病又はうつ状態に適合するものである。 初回1日量50～100ミリグラム、以後漸増して1日量200ミリグラムまで処方される。 自動車の運転等は禁じられる。	三環系抗うつ剤で、精神神経科領域におけるうつ病又はうつ状態に適合するものである。 初回1日量30～75ミリグラム、以後漸増して1日量150ミリグラムまで処方される。 自動車の運転等は禁じられる。	弱い精神安定剤で、不安、緊張、抑うつを除去するものである。 1日量は20～60ミリグラムで連用中における投与量の急激な減少ないし投与の中止により、まれに痙攣発作、ときとくにせん妄、振せん、不眠、不安、幻覚妄想等の禁断症状があらわれることがある。 精神分裂病等の精神障害者に投与すると逆に刺激興奮、錯乱等の症状があらわれることがある。 自動車の運転等に従事させないよう注意することになっている。	ベンゾジアゼピン系向精神薬で、神経症、心身症、自律神経失調症における不安、緊張、焦燥、抑うつ、易疲労性などの情緒障害、自律神経症状及び睡眠障害等に適応するものである。 1日量は、3～12ミリグラム、眠気、ふらつき等の副作用がある。	スルピリド向精神薬で、精神分裂病、うつ病又はうつ状態に適応するものである。 精神分裂病に対しては、1日量300～600ミリグラム、うつ病等に対しては1日量150～300ミリグラム処方される。 自動車の運転等は禁じられる。	弱い精神安定剤で、静穏、鎮静作用、自律神経安定化作用及び筋弛緩、抗痙攣作用を有する。 1日量は15ミリグラムで、副作用としてはコントロールと同様の症状があらわれることがある。 自動車の運転等に従事させないよう注意することになっている。

第8表 日本航空の医療関係部署



第9表 日本航空運航本部組織図（昭和57年2月1日現在） 実員は、地上職+乗員を、（）内はその合計人数を示す。訓練生は除く。



第10表 救助活動（初動段階）の経過

時間	陸	上	現 場
08 : 44	事故発生	航空管制官及びスポット56にいた空港グランド・サービスの職員が目撃。	
08 : 46	管制官から東京空港事務所消防課へ通報。	空港グランド・サービス職員3名、ライトバタン2台で33R進入端岸壁に到着。	
08 : 48	東京空港事務所消防課から東京消防庁管制室へ通報。	東京空港事務所消防課職員、同航務課職員、空港署パトロー	
08 : 48	東京空港事務所消防課職員、同航務課職員、空港署パトロー	ルカー、日本航空整備担当職員等が、33R進入端岸壁に到着。	
～08 : 55	日本航空事故本部設置。警視庁総合警備本部設置。東京消防	庁第3出動発令。第3管区海上保安本部事故対策本部設置。	
08 : 56	釣舟1隻(0号)33R進入端岸壁に接岸、警官3名乗船して現場へ向かう。		
08 : 59	消防庁特別救難隊及び日本航空ボート組立開始。		
09 : 00	大森医師会へ消防庁から事故通報。		釣舟(0号)左主翼着、海中の乗客の救助を始める。

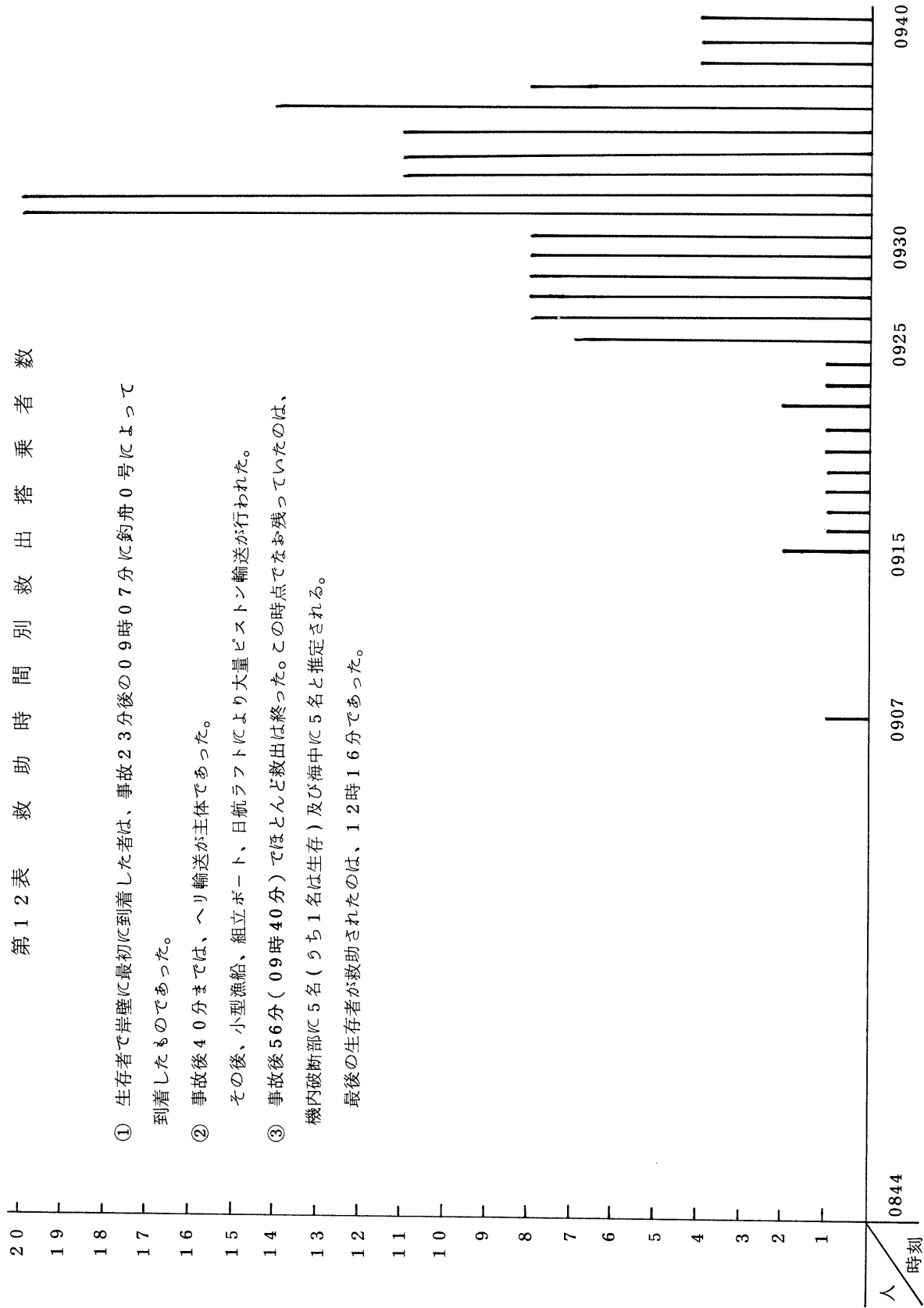
時間	陸	上	現場
09 : 04		日本航空バス4台を33R進入端岸壁へ差し向ける。	ヘリコプタJ A 9 0 6 5 (警) 指令機到着。
09 : 05			ヘリコプタJ A 9 0 2 7 (消) 指令機到着。
09 : 07		釣舟 (O 号) 3 3 R 進入端岸壁に接岸して乗客 1 名 (5 A) を揚陸。	
09 : 10			ヘリコプタJ A 9 5 6 5 (保) 及びJ A 9 1 2 1 (消) 到着。
09 : 12			消防庁特別救難隊到着。釣舟 (O 号) 乗客 2 名を乗せて陸岸へ向かう。
09 : 13			左右両主翼上にヘリコプタから救助隊員降下。
09 : 14		ヘリコプタによる救助始まる。	水上署隊到着。海保ヘリよりラフト 4 個投下。
09 : 15		消防庁から蒲田医師会へ自宅待機の要請があった。	
09 : 17			漁船、警察ボート、消防庁ボート等数隻到着。F / E 及び前部客室乗務員 2 名漁船に。
09 : 20		消防庁から蒲田医師会へ出動要請。	
09 : 21			海保川崎の巡視艇到着。
09 : 23			日本航空のラフト 3 隻到着。機長、警察ボートへ、次いで同ラフトへ。
09 : 25		日赤医療センターから救護班 (第 1 次) 出発。	
09 : 30		消防庁から大森医師会へ出動要請。	
09 : 35		蒲田医師会特別災害医療班 (医師 1 8 名ほか) 3 3 R 進入端岸壁に到着。	副操縦士及び後部客室乗務員 3 名が漁船及び救助ボートに。
09 : 38		ヘリコプタによる救助終る。	
09 : 40		大森医師会第 1 陣、3 3 R 進入端岸壁に到着。	

第111表 救助に参加した機関及び組織

機 関	出 動 人 員	使 用 機 材				備 考
		舟 艇	ヘリコプター	車 両	ラフト	
東京消防庁 ○第三出動発令 (本部長 第二方面隊長)	28消防署	艇 8	4	105		艇：消防艇 組立：組立式救命ボート
	職員 団員	組立 20 40				
	計	665				
川崎市消防局		指揮艇 1		査察車 1		約500mまで接近 海上浮遊物の監視及び情報収集
横浜消防局		消防艇 2				〃
千葉市消防局		消防艇 1		1		〃
警 視 庁 ○総合警備本部 (警備部長)	機 動 隊	水上艇 23				参加隊員の相当数は、周辺警備及び交通整理に当った。 事故機周辺は、約500名
	レスキュー	組立 46				
	アクアラング	47				
	署	600				
	本 部	600				
	計	2,329				
海上保安庁 ○羽田沖航空機事故対策 本部 (第三管区海上保安本部長)	船艇乗員	405				船：巡視船、測量船 艇：巡視艇、監視取締艇、搭載船、灯 台見回船
	特殊救難隊	11	2		4	
	陸上職員(含ヘリ)	125				
	計	541				
防 衛 庁	水中処分队員	14	10			舟艇及びヘリは現場待機 水中処分队は終日参加
大田漁業協同組合 羽田漁船共同組合 大森漁業組合		27				
		6				
		6				

組 織	出 動 人 員	使 用 機 材				備 考
		舟 艇	ヘリコプター	車 両	ラフト	
羽田雑漁業共同組合	5	4				船型が大型のため、現場に接近する } ことができなかつた。 本社(救護班×1、災害救援車×3)、 大森病院(救急車×1、災害派遣車× 3)、武蔵野・新宿・葛飾病・産院(救急車各1)、横浜病院(救護班×1、 救急車×1、災害派遣車×2)その他
大森東雑漁業共同組合	2	2				
大田区公害環境部	3	2				
東京湾遊漁船協同組合		18				
川崎釣船漁業組合	4	3				
日本赤十字	8		18			
	13					
医 師	52					
看護婦						
その他						
瀧田医師会	18					
	2					
その他	1					
大森医師会	17					
	1					
看護婦	3					
医 師	8					
看護婦	7					
その他	35					
日 航	99					
関 連	170					
東京空港支店	38					
羽田整備工場	38					
AGS	20					
AMS	23					
全 日 空	11					
東亜国内						
東亜エアサービス						
三愛石油						

第12表 救助時間別救出搭乗者数



① 生存者で岸壁に最初に到着した者は、事故23分後の09時07分に釣舟0号によって到着したものであった。

② 事故後40分までは、ヘリ輸送が主体であった。

その後、小型漁船、組立ボート、日航ラフトにより大量ピストン輸送が行われた。

③ 事故後56分(09時40分)でほとんど救出は終わった。この時点でなお残っていたのは、機内破断部に5名(うち1名は生存)及び海中に5名と推定される。

最後の生存者が救助されたのは、12時16分であった。

第13表 救出搭乗者収容先リスト

	病院名	収容数(名)
1	高野病院	14
2	慈恵医大	12
3	東邦医大	11
4	蒲田総合	7
5	済生会中央	6
6	都立荏荏原	5
7	昭和医大	5
8	大森記念	5
9	京浜	4
10	黒田	4
11	慶応	3
12	日赤医療センター	3
13	日本医大	3
14	東京労災	3
15	市川第一	3
16	東京国立第二	3

(注) 病院(即日退院を含む)収容 120名
 死者 24名
 その他 30名

	病院名	収容数(名)
17	広尾病院	3
18	北品川総合	3
19	田園調布中央	2
20	六郷	2
21	大村	2
22	大東	2
23	国分	2
24	大槻	2
25	大森日赤	2
26	東京女子医大	2
27	東京救済会	3
28	日大駿河台	1
29	墨東	1
30	警察	1
31	大田	1
	計	120名

別添 1 航空身体検査証明申請書の書式

第22号様式 (日本工業規格 B 4)

航空身体検査証明申請書			入 紙 収 印																																																																																																			
運輸大臣 殿 (指定航空身体検査医)			年 月 日																																																																																																			
住所 東京都大田区東京国際空港内 日本航空オペレーションセンター (電話番号) 747-3471																																																																																																						
氏名 印																																																																																																						
生年月日 年 月 日 (才) 男・女																																																																																																						
本籍 (外国へは、国名を) 木 新																																																																																																						
<p>第 1 種 航空身体検査証明を受けたいので、航空法施行規則第61条の規定により申請します。</p> <p>第 2 種 航空身体検査証明を記入すること。</p>																																																																																																						
第 1 種		第 2 種																																																																																																				
技能証明の種別	種別	種別	種別																																																																																																			
番号	番号	番号	番号																																																																																																			
技能証明の種別	航空士	技能証明の種別	航空士																																																																																																			
定期運送用操縦士	一等航空士	技能証明の種別	航空士																																																																																																			
上級事業用操縦士	二等航空士	技能証明の種別	航空士																																																																																																			
事業用操縦士	三等航空士	技能証明の種別	航空士																																																																																																			
<p>2 初回検査又は更新検査の場合は前回の検査年月日 (いづれか○印でかこむこと。) 初回検査 更新検査</p> <p>3 更新検査の場合は前回の検査年月日 年 月 日</p> <p>4 現に有している身体検査証明の有効期限 年 月 日</p>																																																																																																						
<p>5 既往歴等 (過去にかかったこと又は現在にかかっているときは、有の欄に○印をする。)</p> <table border="1"> <tr> <th>有</th> <th>病名</th> <th>等</th> <th>有</th> <th>病名</th> <th>等</th> <th>有</th> <th>病名</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td></td> <td>眼の病</td> <td>気</td> <td></td> <td>骨折又は骨折</td> <td>脱臼</td> <td></td> <td>胆のう炎</td> <td>胆石</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耳の病</td> <td>気</td> <td></td> <td>下肢のけいれん</td> <td></td> <td></td> <td>薬剤血</td> <td>落過敏症</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副鼻腔炎</td> <td></td> <td></td> <td>結核</td> <td>症</td> <td></td> <td>黄</td> <td>疸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歯、歯ぐきの重い病</td> <td>気</td> <td></td> <td>喘</td> <td>息</td> <td></td> <td>が</td> <td>ん</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本脳炎</td> <td>症</td> <td></td> <td>気胸又は肺結核</td> <td>症</td> <td></td> <td>虫</td> <td>垂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ジフテリア</td> <td>症</td> <td></td> <td>助</td> <td>膜炎</td> <td></td> <td>痔</td> <td>又は</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロイマチス</td> <td>症</td> <td></td> <td>破</td> <td>傷</td> <td></td> <td>尿</td> <td>閉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>胸</td> <td>炎</td> <td></td> <td>甲</td> <td>状</td> <td></td> <td>結</td> <td>核</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>状</td> <td>腺</td> <td></td> <td>尿</td> <td>蛋白</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>腫</td> <td>脹</td> <td></td> <td>性</td> <td>病</td> </tr> </table>				有	病名	等	有	病名	等	有	病名	等		眼の病	気		骨折又は骨折	脱臼		胆のう炎	胆石		耳の病	気		下肢のけいれん			薬剤血	落過敏症		副鼻腔炎			結核	症		黄	疸		歯、歯ぐきの重い病	気		喘	息		が	ん		日本脳炎	症		気胸又は肺結核	症		虫	垂		ジフテリア	症		助	膜炎		痔	又は		ロイマチス	症		破	傷		尿	閉		胸	炎		甲	状		結	核					状	腺		尿	蛋白					腫	脹		性	病
有	病名	等	有	病名	等	有	病名	等																																																																																														
	眼の病	気		骨折又は骨折	脱臼		胆のう炎	胆石																																																																																														
	耳の病	気		下肢のけいれん			薬剤血	落過敏症																																																																																														
	副鼻腔炎			結核	症		黄	疸																																																																																														
	歯、歯ぐきの重い病	気		喘	息		が	ん																																																																																														
	日本脳炎	症		気胸又は肺結核	症		虫	垂																																																																																														
	ジフテリア	症		助	膜炎		痔	又は																																																																																														
	ロイマチス	症		破	傷		尿	閉																																																																																														
	胸	炎		甲	状		結	核																																																																																														
				状	腺		尿	蛋白																																																																																														
				腫	脹		性	病																																																																																														
<p>6 該当するものがあれば詳細に記入すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>時期、期間、原因、病名、品名、術式等の説明</th> </tr> <tr> <td>常用薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術</td> <td></td> </tr> <tr> <td>頭部外傷</td> <td></td> </tr> <tr> <td>失神、意識喪失</td> <td></td> </tr> </table>				項目	時期、期間、原因、病名、品名、術式等の説明	常用薬		手術		頭部外傷		失神、意識喪失																																																																																										
項目	時期、期間、原因、病名、品名、術式等の説明																																																																																																					
常用薬																																																																																																						
手術																																																																																																						
頭部外傷																																																																																																						
失神、意識喪失																																																																																																						

7 身長	cm	10 眼力	右	左	13 血	圧	mmHg
8 体重	kg	11 脈搏	右	左	14 尿	糖	試
9 胸囲	cm	12 脈理の運動	右	左	23 視	遠点	mm
15 遠距離視力		18 近距離視力	右	左	24 視	力	
16 遠距離視力		19 夜間視力	右	左	25 視	野	右
17 遠距離視力		20 色覚	右	左	26 視	力	左
26 遠距離視力		21 眼位	右	左	27 眼	圧	
29 遠距離視力		22 眼球運動	右	左	30 眼	の	疾患
33 一般		35 精神神経系	可	不可	31 耳	疾	患
34 呼吸器系		39 運動器系	可	不可	32 口	腔	歯
35 循環器系		40 泌尿生殖器系	可	不可	33 歯	疾	患
36 消化器系		41 その他	可	不可	34 眼	疾	患
37 血液及び造血		44 血清学的検査	可	不可	35 視	力	異常
42 尿検査	蛋白 糖	45 心電図検査	可	不可	36 視	野	異常
43 胸部X線検査		46 血液検査	可	不可	37 視	力	異常
48 検査医師照会		47 その他の検査	可	不可	38 視	野	異常
		49 検査年月日	昭和	年	月	日	
		50					
		航空身体検査指					
		定機関の名称及					
		び代表者氏名					
		56	備	考			
		57	証明に附した条件				
		58	証明に附した条件				
		59	証明に附した条件				
		60	証明に附した条件				
		61	証明に附した条件				
		62	証明に附した条件				
		63	証明に附した条件				
		64	証明に附した条件				
		65	証明に附した条件				
		66	証明に附した条件				
		67	証明に附した条件				
		68	証明に附した条件				
		69	証明に附した条件				
		70	証明に附した条件				
		71	証明に附した条件				
		72	証明に附した条件				
		73	証明に附した条件				
		74	証明に附した条件				
		75	証明に附した条件				
		76	証明に附した条件				
		77	証明に附した条件				
		78	証明に附した条件				
		79	証明に附した条件				
		80	証明に附した条件				
		81	証明に附した条件				
		82	証明に附した条件				
		83	証明に附した条件				
		84	証明に附した条件				
		85	証明に附した条件				
		86	証明に附した条件				
		87	証明に附した条件				
		88	証明に附した条件				
		89	証明に附した条件				
		90	証明に附した条件				
		91	証明に附した条件				
		92	証明に附した条件				
		93	証明に附した条件				
		94	証明に附した条件				
		95	証明に附した条件				
		96	証明に附した条件				
		97	証明に附した条件				
		98	証明に附した条件				
		99	証明に附した条件				
		100	証明に附した条件				